

東京計器株式会社

証券コード 7721



**TOKYO**  
**KEIKI**

2026年3月期

# 決算説明資料

2026年5月11日

2026年3月期の営業利益は2期連続過去最高を更新  
 2027年3月期は、売上高は過去最高、営業利益は3期連続の過去最高更新を目指す

### 2026年3月期 実績

防衛・通信機器事業の業績拡大が貢献し  
 前期比で増収・増益

売上高

61,186百万円

前期比

+3,536百万円  
 (+6.1%)

営業利益

5,362百万円

前期比

+506百万円  
 (+10.4%)

### 受注残高

期末受注残高は  
 過去最高を更新

59,875百万円

前期比  
 +3,467百万円  
 (+6.1%)

### 2027年3月期 業績予想

好調な足元業績を踏まえ、中期経営計画の  
 営業利益を更に上方修正

売上高

68,300百万円

前期比

+7,114百万円  
 (+11.6%)

営業利益

6,400百万円

前期比

+1,038百万円  
 (+19.4%)

### 外部環境リスクの状況

中東情勢他、P.13に記載  
 なお、計画値には未織込

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 計画
3. セグメント別 詳細情報
4. ご参考資料
  - トピックス
  - 業績推移
  - 事業紹介

## 1. 2026年3月期 決算概要

### 売上高・損益

単位:百万円	2025年 3月期 実績	2026年 3月期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率	前回予想 (2026年 2月6日)	増減額※	増減率※
売上高	57,650	61,186	+3,536	+6.1%	60,400	+786	+1.3%
営業利益	4,856	5,362	+506	+10.4%	4,500	+862	+19.2%
経常利益	5,001	5,492	+492	+9.8%	4,600	+892	+19.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,797	4,005	+208	+5.5%	3,210	+795	+24.8%
売上高 営業利益率	8.4%	8.8%	+0.3pt	-	7.5%	+1.3pt	-
為替レート (円/USD)	152.64	150.57					

■ 売上高は、大幅な増収となった防衛・通信機器事業に加え、船舶港湾機器事業を始めとする全ての事業で増収となり、**前期比で増収。**

■ 防衛・通信機器事業の増益が貢献し、**すべての利益項目が増益。**

※2026年3月期実績との比較

1. 2026年3月期 決算概要

## セグメント別売上高・損益

単位:百万円		2025年 3月期 実績	2026年 3月期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率	前回予想 (2026年 2月6日)	増減額※	増減率※
船舶港湾機器	売上高	12,529	<b>13,675</b>	+1,146	+9.1%	13,500	+175	+1.3%
	営業利益	1,551	<b>1,317</b>	▲234	▲15.1%	1,350	▲33	▲2.4%
油空圧機器	売上高	11,460	<b>11,836</b>	+375	+3.3%	11,700	+136	+1.2%
	営業利益	197	<b>222</b>	+25	+12.7%	100	+122	+122.4%
流体機器	売上高	5,019	<b>5,410</b>	+391	+7.8%	5,300	+110	+2.1%
	営業利益	789	<b>873</b>	+84	+10.6%	750	+123	+16.4%
防衛・通信機器	売上高	24,394	<b>26,015</b>	+1,622	+6.6%	25,700	+315	+1.2%
	営業利益	1,635	<b>2,344</b>	+708	+43.3%	1,900	+444	+23.3%
その他	売上高	4,247	<b>4,249</b>	+2	+0.0%	4,200	+49	+1.2%
	営業利益	756	<b>684</b>	▲71	▲9.4%	480	+204	+42.6%
合計	売上高	57,650	<b>61,186</b>	+3,536	+6.1%	60,400	+786	+1.3%
	営業利益	4,856	<b>5,362</b>	+506	+10.4%	4,500	+862	+19.2%

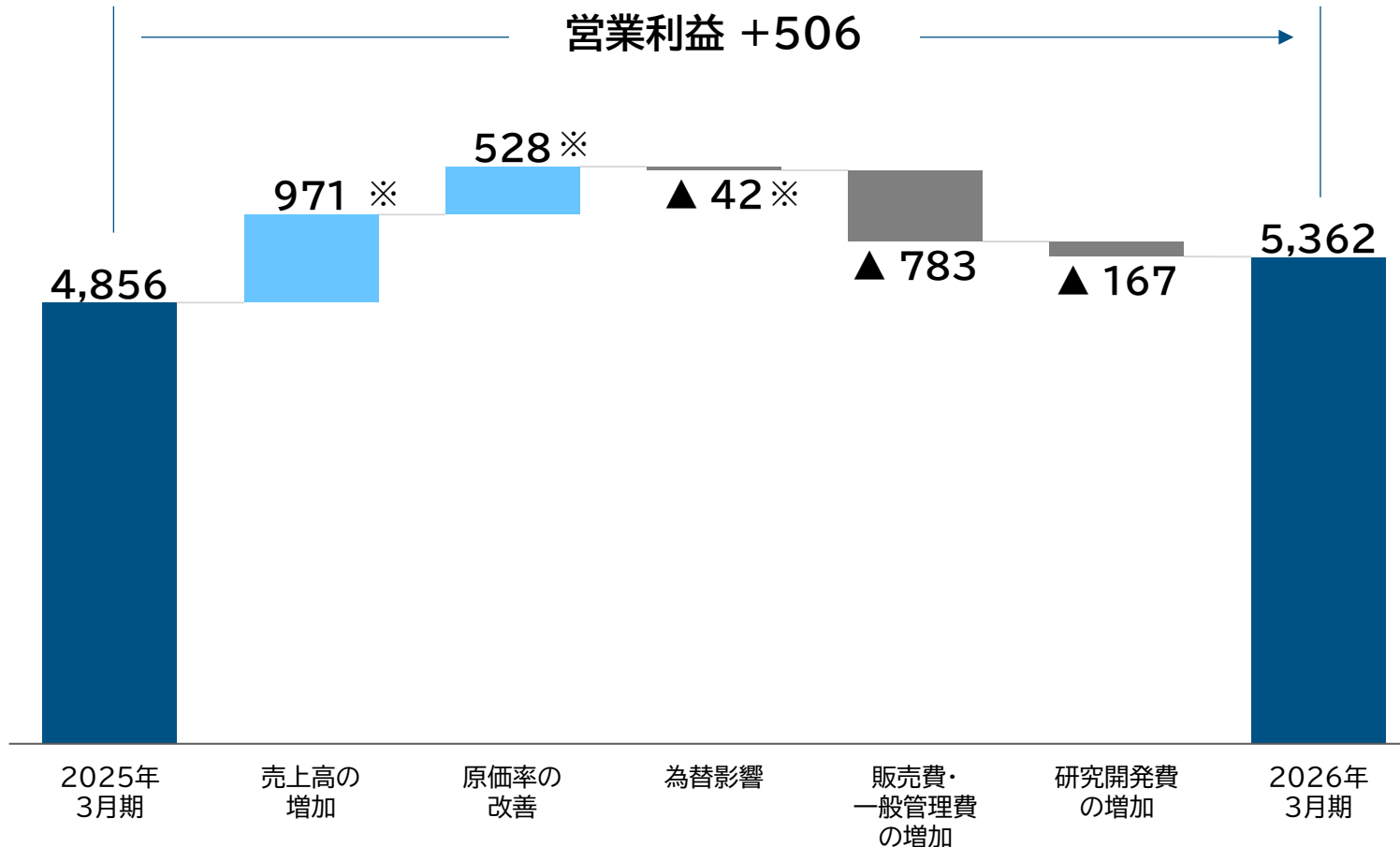
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

※2026年3月期実績との比較

1. 2026年3月期 決算概要

営業利益増減

単位:百万円 ※推計値



- 売上高の増加  
船舶港湾機器事業、防衛・通信機器事業を始めとする主力事業の増収により増加。
- 原価率の改善  
主に防衛・通信機器事業の原価率が改善し増加。
- 為替影響  
前期152.64円/USDに対し、150.57円/USDと円高で推移し減少。
- 販売費・一般管理費の増加  
主に本社移転費(428百万円)等により増加。
- 研究開発費の増加  
主に船舶港湾機器事業の研究開発費が増加。

# 1. 2026年3月期 決算概要

## 受注の状況

- 防衛予算(物件費)の年度配分から防衛・通信機器事業の需要に一服感があるものの、他の事業の受注増加により受注高は高水準。
- 期末受注残高は過去最高を更新。

単位:百万円	受注高				受注残高			
	2025年 3月期	2026年 3月期	増減額	増減率	2025年 3月期	2026年 3月期	増減額	増減率
船舶港湾機器	13,817	15,280	+1,462	+10.6%	5,705	7,309	+1,605	+28.1%
油空圧機器	11,466	12,007	+542	+4.7%	3,390	3,562	+172	+5.1%
流体機器	5,415	5,790	+375	+6.9%	1,917	2,297	+380	+19.8%
防衛・通信機器	33,988	26,004	▲7,984	▲23.5%	43,246	43,235	▲11	▲0.0%
その他	4,666	5,572	+906	+19.4%	2,151	3,472	+1,322	+61.5%
合計	69,352	64,653	▲4,699	▲6.8%	56,408	59,875	+3,467	+6.1%

# 1. 2026年3月期 決算概要

## 経営指標

単位	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	
<b>資本収益性</b>						
ROE(自己資本利益率)	%	4.6	2.7	6.5	9.8	9.3
ROA(総資産経常利益率)	%	3.5	3.0	4.8	7.0	6.8
株主資本コスト	%	6.1	7.8	8.1	6.3	8.2
<b>一株当たり情報</b>						
EPS(一株当たり利益)	円	91.06	53.16	138.62	231.15	243.75
BPS(一株当たり純資産)	円	2,005.00	2,005.89	2,243.54	2,460.11	2,770.05
<b>市場評価</b>						
期末株価	円	1,187	1,215	2,719	3,345	6,160
期末時価総額(注)	億円	195	199	447	550	1,012
PER(株価収益率)	倍	13.03	22.85	19.61	14.47	25.3
PBR(株価純資産倍率)	倍	0.59	0.61	1.21	1.36	2.22

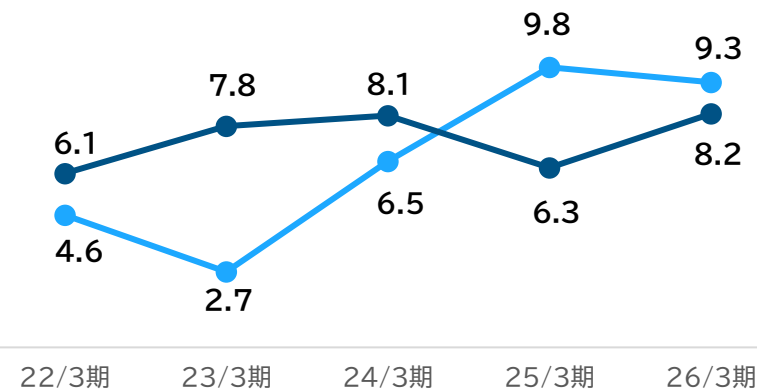
(注)期末時価総額は、連結決算日における株価×期末発行済株式数(自己株式控除)により算出しております。

### 資本コストや株価を意識した経営の実現

- 当社の株主資本コストは6~8%と認識。
- ROEは株主資本コストを上回った。
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、中期経営計画(2024-2026年度)の重点戦略を実行し、エクイティスプレッドの拡大を目指す。

#### 資本収益性

—●— ROE —●— 株主資本コスト (%)



# 1. 2026年3月期 決算概要

## 貸借対照表

単位:百万円	2025年3月31日	2026年3月31日	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	56,190	57,578	+1,389
（棚卸資産）	23,970	27,192	+3,222
固定資産	20,307	27,203	+6,895
（有形固定資産）	9,709	12,950	+3,241
<b>資産合計</b>	<b>76,497</b>	<b>84,781</b>	<b>+8,284</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	24,060	26,973	+2,913
（短期借入金）	10,417	13,495	+3,079
固定負債	11,430	11,652	+222
（長期借入金）	9,062	8,291	▲771
<b>負債合計</b>	<b>35,490</b>	<b>38,625</b>	<b>+3,135</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	36,180	39,626	+3,446
その他の包括利益累計額	4,238	5,895	+1,657
<b>純資産合計</b>	<b>41,007</b>	<b>46,155</b>	<b>+5,148</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>76,497</b>	<b>84,781</b>	<b>+8,284</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>52.8%</b>	<b>53.7%</b>	<b>+0.9pt</b>

- 資産の部  
 旺盛な受注を背景とした在庫の積み増しによる棚卸資産の増加、及び防衛事業の増産に伴う生産設備の増強や本社移転の影響による有形固定資産の増加等により、前期末比+8,284百万円。
- 負債の部  
 過去最高水準の受注残高に対応するため、運転資金の借入が増加したこと等により、前期末比+3,135百万円。

1. 2026年3月期 決算概要

# キャッシュ・フローの状況

単位:百万円	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
営業CF	2,256	▲2,829	▲2,835	▲455	▲160
投資CF	▲572	4	▲2,373	▲4,025	▲5,153
FCF	1,684	▲2,824	▲5,209	▲4,480	▲5,314
財務CF	▲1,120	▲780	4,299	4,178	1,708
現金及び現金同等物の 期末残高	12,208	8,671	7,796	7,553	3,954
減価償却費	1,073	1,035	868	1,193	1,731
棚卸資産	14,979	18,153	22,905	23,970	27,192

- 営業CF  
売掛債権が増加したものの、当期純利益の増加により、前期比+295百万円。
- 投資CF  
受注増加に対応するための生産設備の増強や本社移転等の固定資産の取得により前期比▲1,128百万円。
- FCF  
結果、前期比▲833百万円となり大きくマイナス。

1. 2026年3月期 決算概要

株主還元

成長投資

- 新規事業に対応する設備投資
- 研究開発
- 成長ドライバー投資 (水素事業 他)
- 戦略投資 (M&A 他)

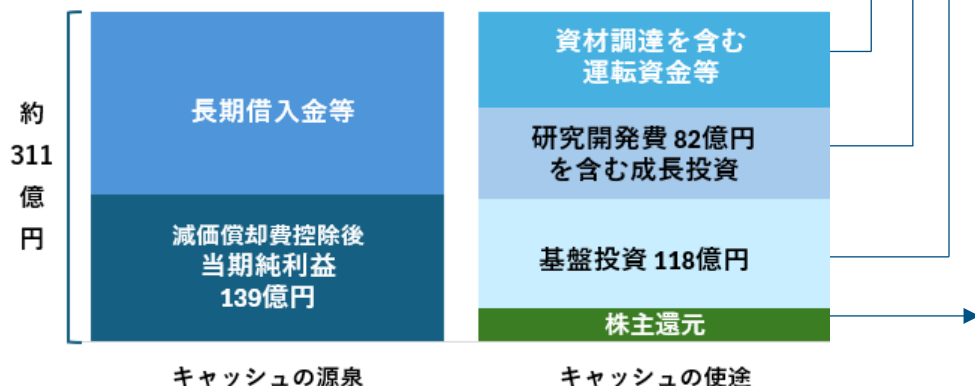
基盤投資

- 老朽化設備の更新
- DXを始めとするインフラ整備
- 本社移転

運転資金

- 給料等支払
- 部材購入他

直近3ヶ年のキャッシュの源泉・使途



- 「東京計器ビジョン2030」の実現による企業価値向上に向け、成長投資を最優先としつつ、財務基盤とのバランスを考慮しながら、最適資本構成を意識した最適な株主還元施策を実施する。
- 毎期の配当については、過去の配当実績も勘案し、安定的かつ継続的な株主還元に努める。

配当金

2026年3月期 (予定)

40.00円

2027年3月期(予想)

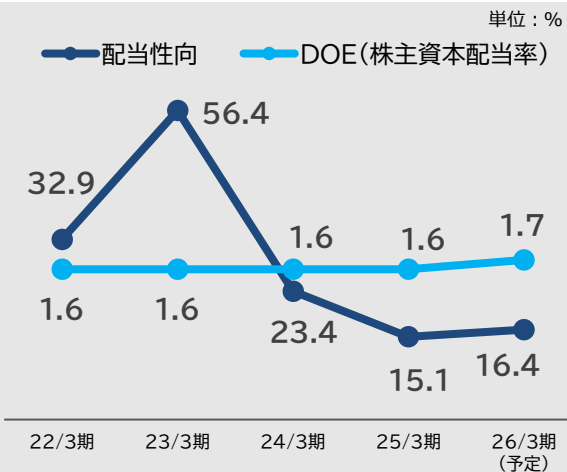
48.00円

累進配当を継続

配当金の推移



配当性向とDOEの推移



株主優待

- 対象となる株主様の保有株式数に応じてポイントを贈呈。
- ポイントを株主様限定の特設ウェブサイト「東京計器プレミアム優待倶楽部」において、お好みの商品と交換。

詳細は株主様限定ウェブサイトでご確認ください。

<https://tokyokeiki.premium-yutaiclub.jp/>

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 計画
3. セグメント別 詳細情報
4. ご参考資料
  - トピックス
  - 業績推移
  - 事業紹介

2. 2027年3月期 計画

外部環境リスクの状況

		発生事象	対象事業	影響・対応	影響度
中東情勢	緊迫化	直接的影響	船舶港湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸送手段の混乱から現地代理店への納入遅れ。</li> <li>現地代理店からの情報収集、輸送手段の確保に努め売上確保。</li> </ul>	中
		間接的影響	全事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油由来の化学製品の高騰及び入手遅れ。(顧客の工程遅れによる影響を含む)</li> <li>販売価格の適正化に努め利益確保。</li> </ul>	高
			油空圧	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車向けを中心に設備投資が弱含みとなり、産業機械の販売が減少。</li> <li>他市場での拡販。</li> </ul>	中
米国政権の政策	追加関税	米国への直接販売	その他 (米国販売子会社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高はごく僅かであるが、販売価格の適正化に努め利益確保。</li> </ul>	低
		間接的影響	全事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>米中貿易摩擦の影響による部品入手遅れ。 特にレアアースの輸出規制強化が長期化した場合、生産への影響が懸念される。</li> <li>部品手配の前倒し及び、まとめ買い等による部品確保や、調達先変更含め生産体制を強化。</li> </ul>	中
			油空圧	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車向けを中心に設備投資が弱含みとなり、産業機械の販売が減少。</li> <li>他市場での拡販。</li> </ul>	中
為替相場	急激な為替変動	船舶港湾 油空圧	<ul style="list-style-type: none"> <li>151円/USDと予想。 円安に振れた場合、船舶港湾:外貨建て販売(+)、油空圧:海外からの購入部品(-)</li> </ul>	中	

2. 2027年3月期 計画

# 2027年3月期 業績予想

単位:百万円	2026年 3月期 実績	2027年 3月期 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	前回予想 (2025年 5月12日)	増減額※	増減率※
	売上高	61,186	68,300	+7,114	+11.6%	68,300	0
営業利益	5,362	6,400	+1,038	+19.4%	5,580	+820	+14.7%
経常利益	5,492	6,510	+1,018	+18.5%			
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,005	5,000	+995	+24.8%			
売上高営業利益率	8.8%	9.4%	+0.6pt		8.2%	+1.2pt	

■ 防衛事業を含む防衛・通信機器事業において大幅な増収・増益を見込み、過去最高の売上高と営業利益の達成を計画。

※2027年3月期予想との比較

## 為替レートおよび為替感応度

単位:百万円

通貨	為替レート		感応度(1-4Q)	
	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	基準	営業利益
USD	150.57	151.00	1円円安になった場合	+20

2. 2027年3月期 計画

セグメント別業績予想

単位:百万円		2026年 3月期 実績	2027年 3月期 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	前回予想 (2025年 5月12日)	増減額※	増減率※
船舶港湾機器	売上高	13,675	<b>14,800</b>	+1,125	+8.2%	13,300	+1,500	+11.3%
	営業利益	1,317	<b>1,370</b>	+53	+4.0%	1,120	+250	+22.3%
油空圧機器	売上高	11,836	<b>12,200</b>	+364	+3.1%	12,900	▲700	▲5.4%
	営業利益	222	<b>280</b>	+58	+25.9%	310	▲30	▲9.7%
流体機器	売上高	5,410	<b>5,500</b>	+90	+1.7%	5,500	0	0.0%
	営業利益	873	<b>880</b>	+7	+0.8%	490	+390	+79.6%
防衛・通信 機器	売上高	26,015	<b>31,100</b>	+5,085	+19.5%	32,100	▲1,000	▲3.1%
	営業利益	2,344	<b>3,500</b>	+1,156	+49.3%	3,210	+290	+9.0%
その他	売上高	4,249	<b>4,700</b>	+451	+10.6%	4,500	+200	+4.4%
	営業利益	684	<b>510</b>	▲174	▲25.5%	580	▲70	▲12.1%
合計	売上高	61,186	<b>68,300</b>	+7,114	+11.6%	68,300	0	0.0%
	営業利益	5,362	<b>6,400</b>	+1,038	+19.4%	5,580	+820	+14.7%

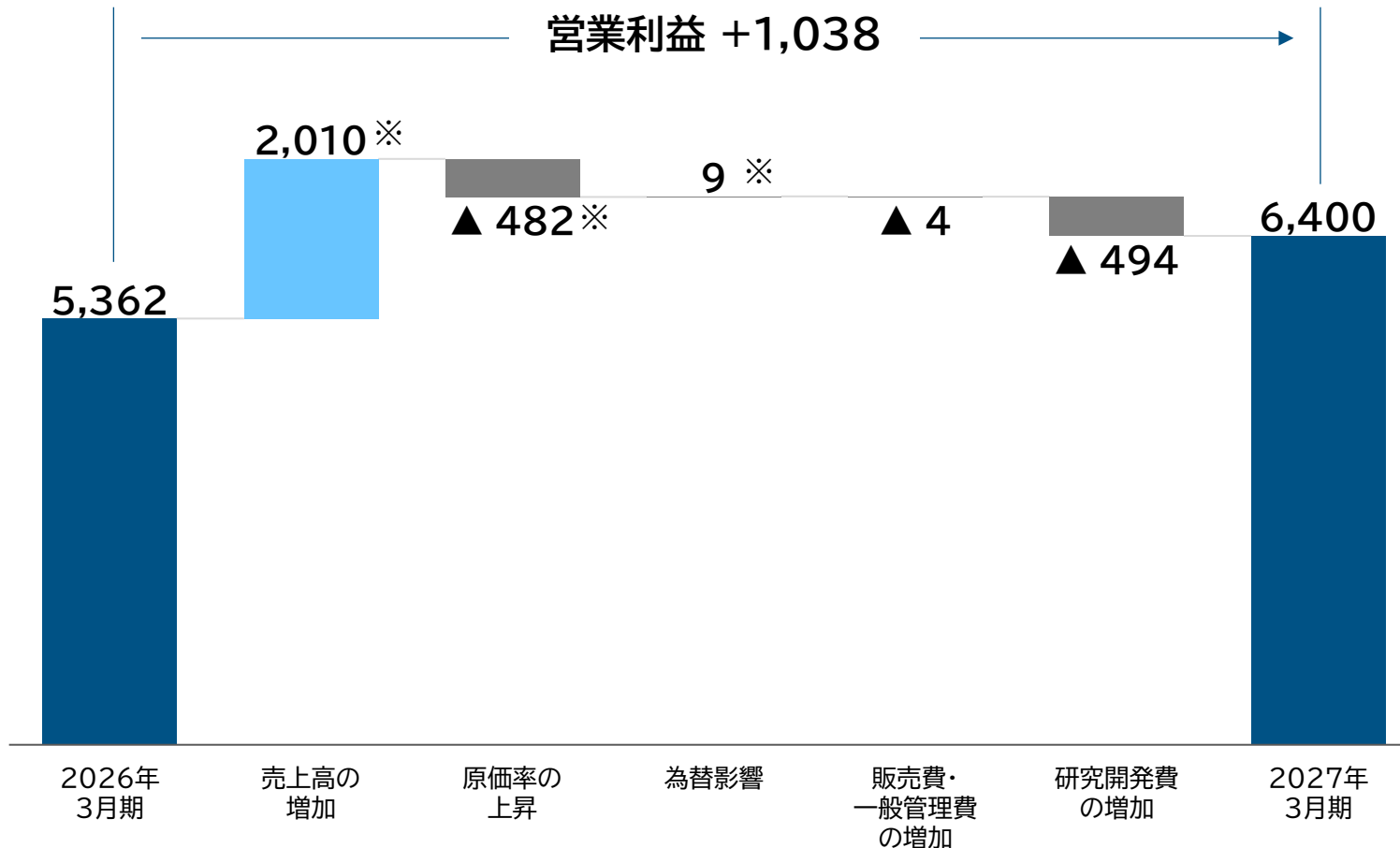
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

※2027年3月期予想との比較

2. 2027年3月期 計画

営業利益増減

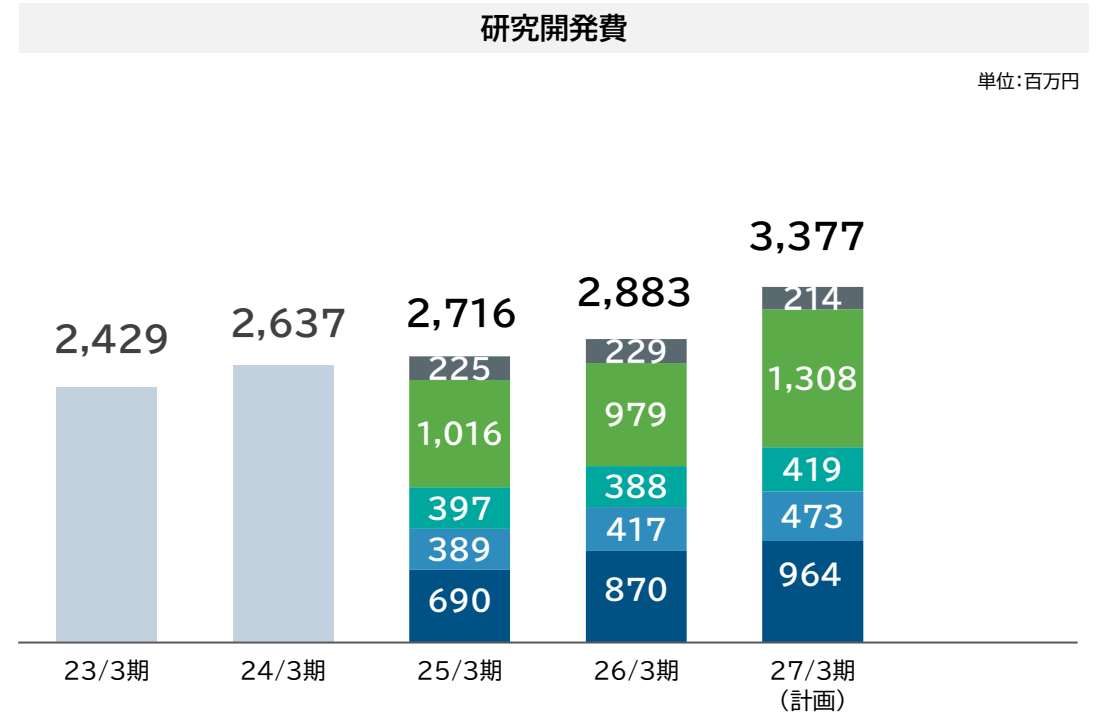
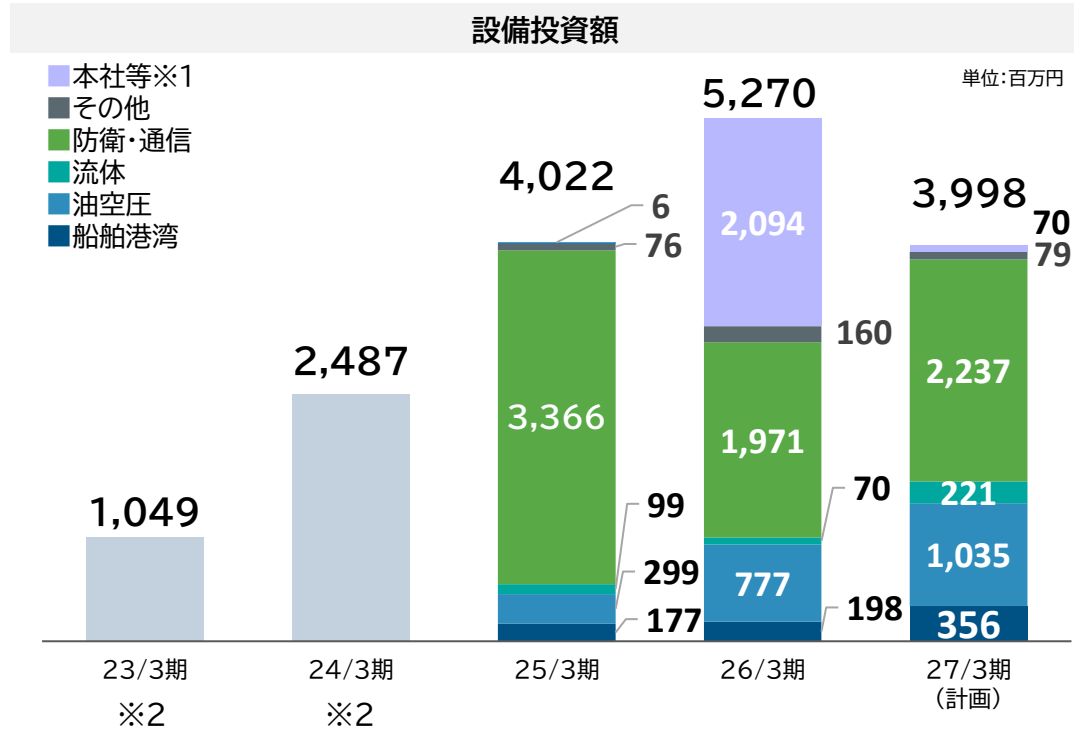
単位:百万円 ※推計値



- 原価率の上昇や研究開発費の増加によるマイナス影響を、防衛・通信機器事業、船舶・港湾機器事業を始めとする全事業の売上高増加によるプラス影響で吸収のうえ増益に貢献。
- 為替影響  
前期150.57円/USDに対し、151.00円/USDで計画。

2. 2027年3月期 計画

成長投資(設備投資額・研究開発費)



- 設備投資額  
防衛事業の開発案件に対応するほか、各種生産設備や基幹システムの更新及び増強を計画。

- 研究開発費  
宇宙、水素、エッジAIなど成長ドライバーに係る製品開発のほか、船舶港湾機器事業における自動操船機能の新規開発や、防衛事業の新規案件獲得等に対応するための研究開発を計画。

※1 26/3期は本社移転費用をセグメントに按分せず本社等に集計開示  
 ※2 24/3期以前は合計値のみ開示(セグメント別開示なし)

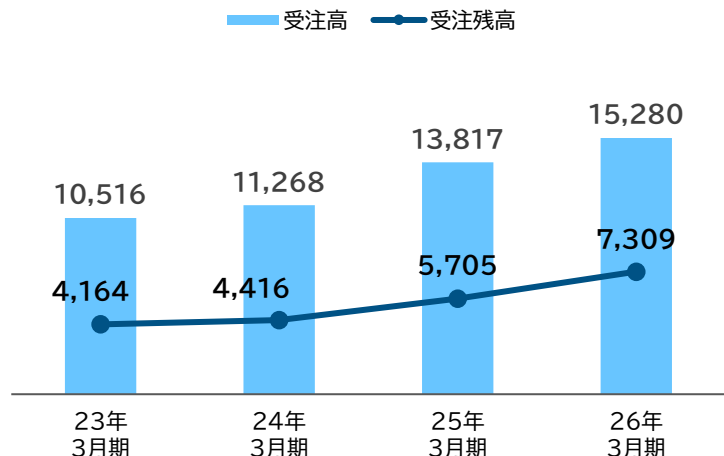
1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 計画
- 3. セグメント別 詳細情報**
4. ご参考資料
  - トピックス
  - 業績推移
  - 事業紹介

3.セグメント別 詳細情報

船舶港湾機器事業

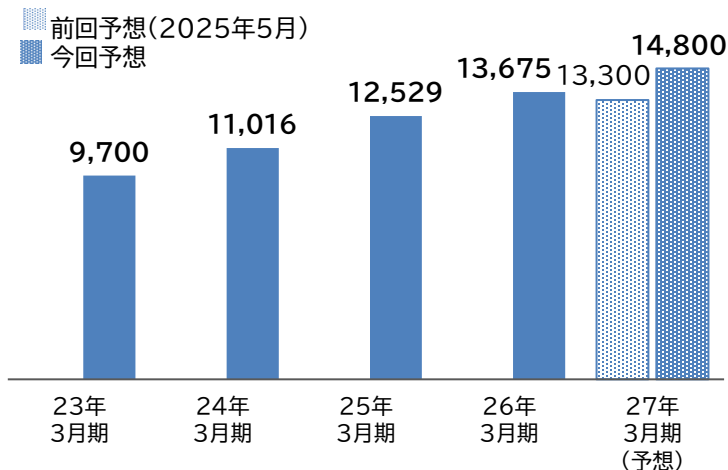
受注高・受注残高

単位：百万円



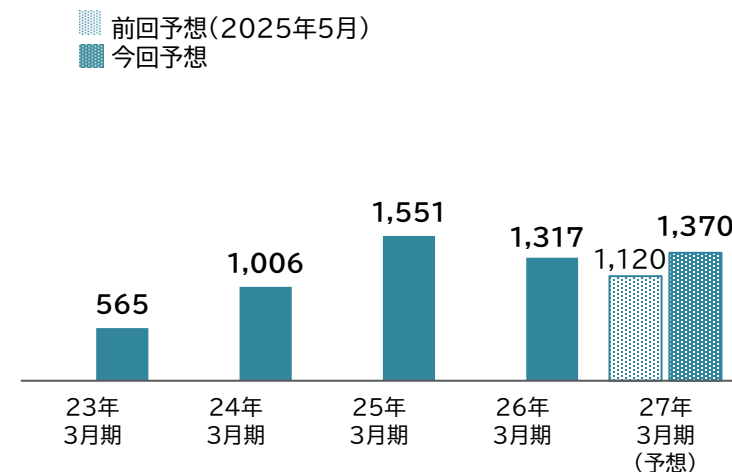
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



2026年3月期実績(前期比)

単位：百万円

受注高	+1,462	海外、特に中国を中心に新造船向け機器の需要が順調に推移したことに加え、前期に引き続き保守サービスの需要が高水準で推移したため、受注高・受注残高ともに増加。
受注残高	+1,605	
売上高	+1,146	新造船向け機器の需要が順調に推移したことに加え、前期に引き続き保守サービスの需要が高水準で推移したことから、前期比で増収。
営業利益	▲234	売上高は増加したものの、研究開発費等の増加により、前期比で減益。

2027年3月期業績予想(前期比)

単位：百万円

売上高	+1,125	新造船需要や保守サービスが引き続き堅調に推移し、当期比で増収の見込み。
営業利益	+53	売上高の増加に伴い、前期比で増益の見込み。

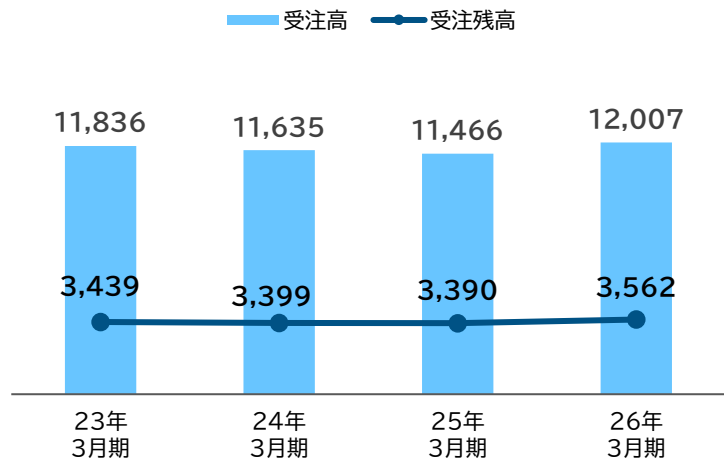
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

3.セグメント別 詳細情報

油空圧機器事業

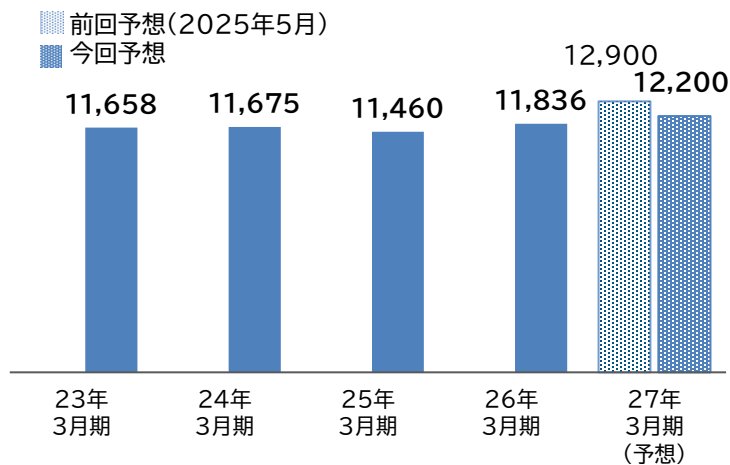
受注高・受注残高

単位：百万円



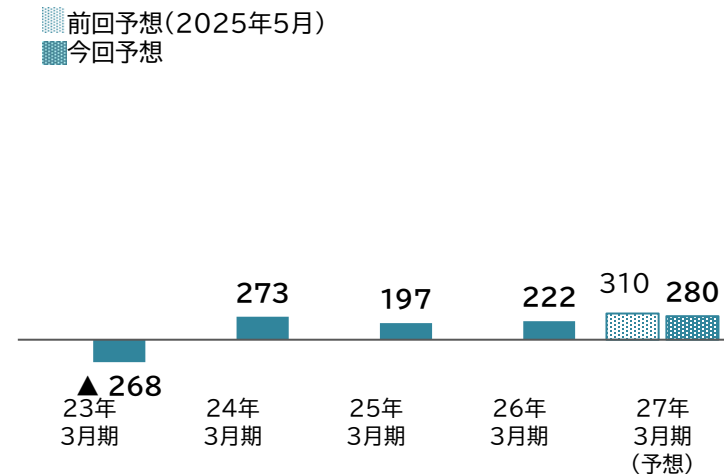
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



2026年3月期実績(前期比)

単位：百万円

受注高	+542	建設機械市場に加え、プラスチック加工機械市場の特殊機及び海外市場の需要が堅調に推移したことから、受注高・受注残高ともに増加。
受注残高	+172	
売上高	+375	プラスチック加工機械市場向けは低調に推移したものの、建設機械市場、工作機械市場、及び海外市場向けが堅調に推移したことから、前期比で増収。
営業利益	+25	販売価格の適正化による利益確保の取り組みや、高付加価値製品の販売強化により原価率が改善したこと等から、前期比で増益。

2027年3月期業績予想(前期比)

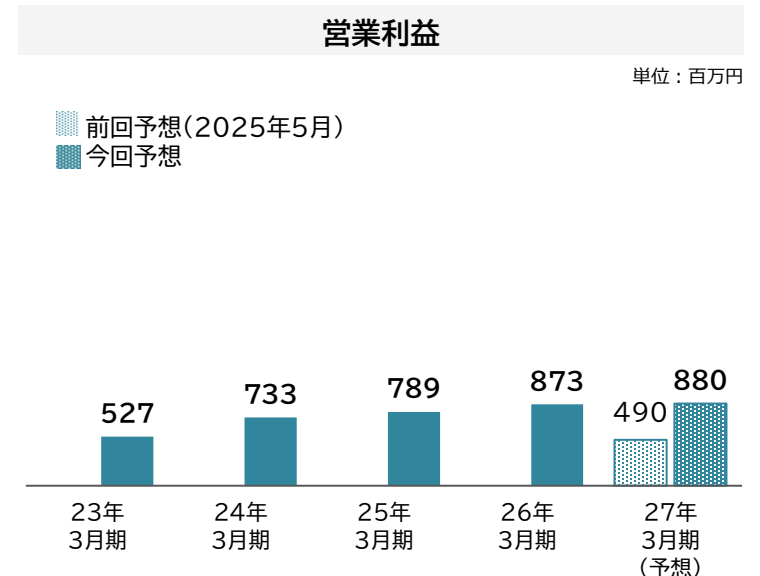
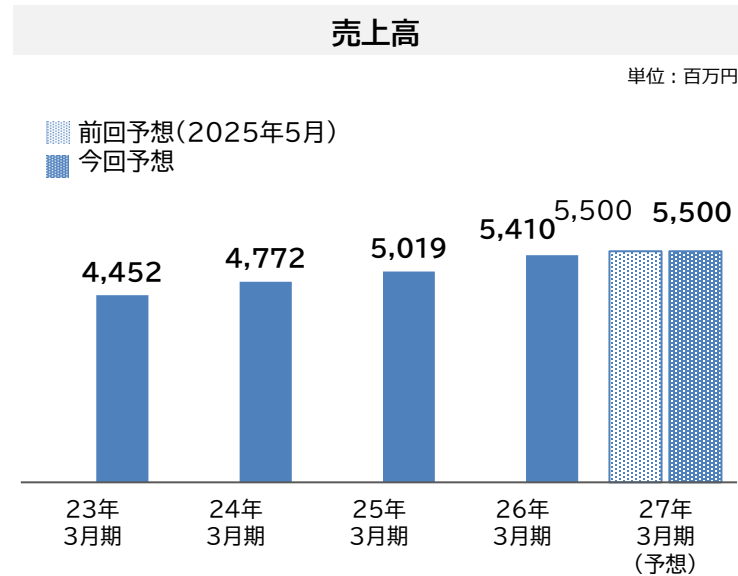
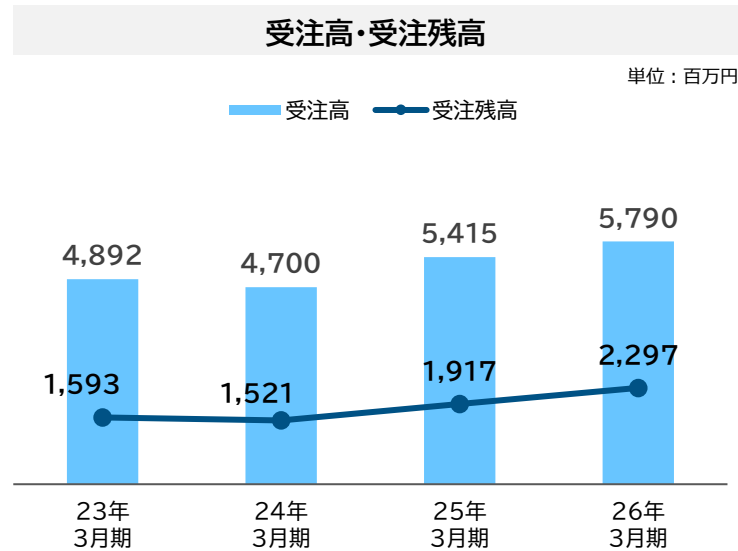
単位：百万円

売上高	+364	国内市場における堅調な工作機械市場や回復基調の建機市場、アジア圏での需要増加等により、前期比で増収の見込み。
営業利益	+58	販売価格の適正化及び生産性向上等の取り組み効果により、前期比で増益の見込み。

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

3.セグメント別 詳細情報

流体機器事業



2026年3月期実績(前期比) 単位：百万円

受注高	+375	計測機器事業において大型案件を獲得等需要が好調に推移したため、受注高・受注残高ともに増加。
受注残高	+380	
売上高	+391	官需市場向け超音波流量計及び立体駐車場向け消火設備が順調に推移したことから、前期比で増収。
営業利益	+84	売上高の増加により前期比で増益。

2027年3月期業績予想(前期比) 単位：百万円

売上高	+90	官需市場及び消火設備市場が堅調に推移することに加え、民需市場、海外市場においては前期投入した新製品の販売が拡大する見込みです。このような状況により、流体機器事業は前期比で増収の見込み。
営業利益	+7	売上高の増加に伴い、前期比で増益の見込み。

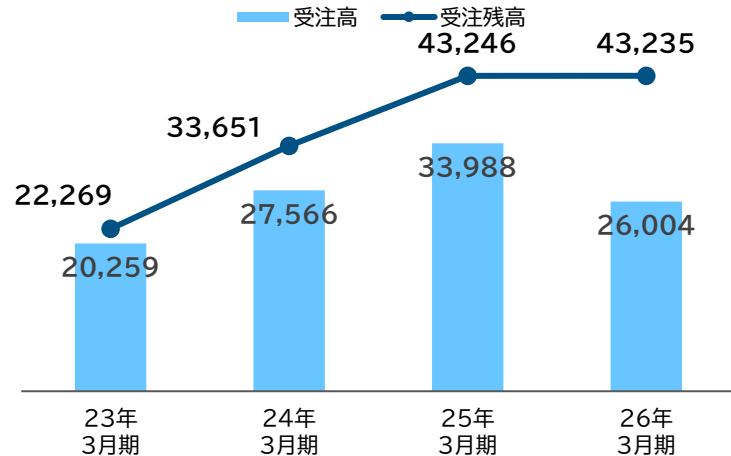
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

3.セグメント別 詳細情報

防衛・通信機器事業

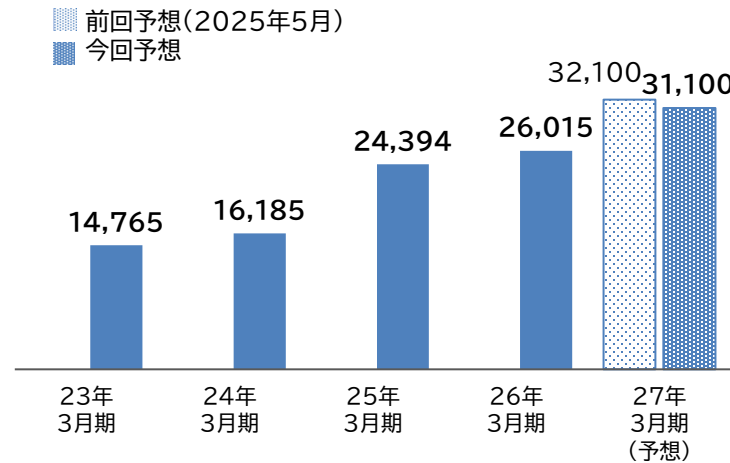
受注高・受注残高

単位：百万円



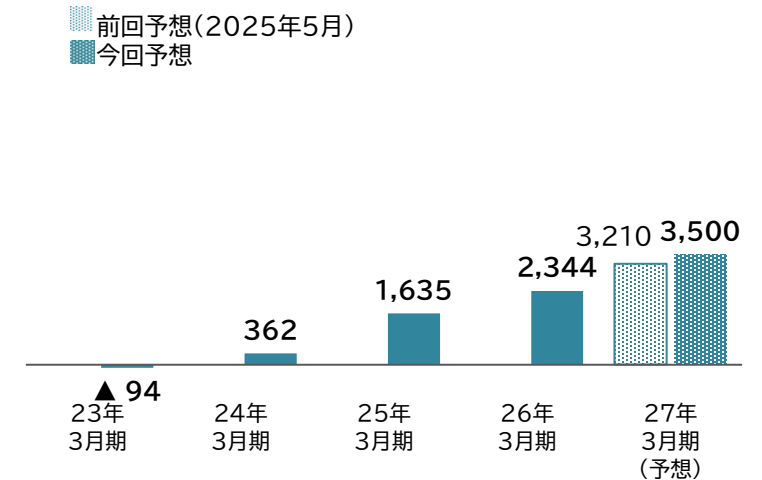
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



2026年3月期実績(前期比)

単位：百万円

受注高	▲7,984	防衛事業において大型の開発案件がなかったことや航空機搭載機器を中心とした修理関連の受注が一服したため受注高は減少したものの受注残高は高水準で推移。
受注残高	▲11	
売上高	+1,622	防衛事業の航空機搭載機器、艦艇搭載機器及び、通信機器事業の宇宙関連機器、移動体衛星通信用アンテナスタビライザー等の販売が好調に推移したため、前期比で増収。
営業利益	+708	売上高の増加、販売価格の改善、製品構成の変化による原価率の好転により前期比で大幅な増益。

2027年3月期業績予想(前期比)

単位：百万円

売上高	+5,085	防衛事業においては引き続き高水準を維持することに加え、MEMS-半球共振ジャイロスコープの研究等の大型案件の納入を予定しているほか、通信機器事業における宇宙事業の販売増加が見込まれることから、前期比で増収の見込み。
営業利益	+1,156	売上高の増加と、製品構成の変化に伴う原価率の改善により、前期比で増益の見込み。

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

3.セグメント別 詳細情報

その他

受注高・受注残高

単位：百万円

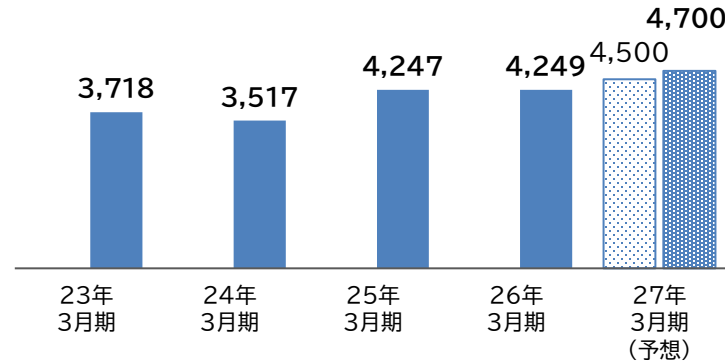
— 受注高 — 受注残高



売上高

単位：百万円

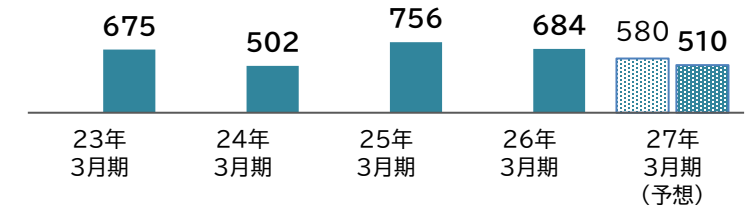
■ 前回予想(2025年5月)  
■ 今回予想



営業利益

単位：百万円

■ 前回予想(2025年5月)  
■ 今回予想



2026年3月期実績(前期比)

単位：百万円

受注高	+906	鉄道機器事業において、主力の探傷車や新製品の慣性式軌道検測装置などの高付加価値製品の需要が好調に推移したため受注高、受注残高とも大幅な増加。
受注残高	+1,322	
売上高	+2	鉄道機器事業は主力の超音波レール探傷車の台数減により当期は減収となったものの、検査機器事業は堅調に推移したため、前期並み。
営業利益	▲71	鉄道機器事業の売上高の減少により、前期比で減益。

2027年3月期業績予想(前期比)

単位：百万円

売上高	+451	鉄道機器事業では、軌道検査省力化装置の販売増加に加え、検査機器事業の販売拡大により増収の見込み。このため前期比で増収の見込み。
営業利益	▲174	鉄道機器事業及び検査機器事業以外の連結子会社において、本社移転に伴う減価償却費の負担増等の影響により、前期比で減益の見込み。

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 計画
3. セグメント別 詳細情報
4. **ご参考資料**
  - トピックス
  - 業績推移
  - 事業紹介

## 4.ご参考資料:トピックス

## 船舶の自動運航へ向けた取り組みに貢献

当社機能を実装した実証船が国土交通省の自動運航船認証を取得。  
商用運航下で自動運転レベル4※を実現。

公益財団法人日本財団が推進する無人運航船プロジェクト「MEGURI2040」に、  
当社は2020年から参画し、実証船4隻のうち「げんぶ」にて、操船制御機能の開発を進めました。

## 社会課題の解決

自動運航船の社会実装が進むことにより、少子高齢化による船員不足やヒューマンエラーに起因する事故など、海事業界が抱える課題の解決につながり、安定的な国内物流・輸送インフラを支えます。

## 当社の技術貢献

実証船「げんぶ」に当社が開発した操船制御機能を実装しました。  
従来の大洋航海中の舵制御に加えて新たに開発した操船制御機能により、離着岸時のスラスタ制御を含めた低船速での操船制御が可能になりました。

※ 特定エリアや条件下において、人の介入が不要な完全自動運航が可能な技術段階を指す。(船舶の自動運転定義は現在IMO等で議論中。便宜的に自動車の定義を流用)  
参考:<https://www.mlit.go.jp/common/001226541.pdf>



実証船、新造内航コンテナ船「げんぶ」



操船制御の統合情報表示

4.ご参考資料:トピックス

ロジック・アンド・デザイン社へ出資

画像鮮明化技術とカメラ技術を融合した製品開発を推進

東京計器

第三者割当増資

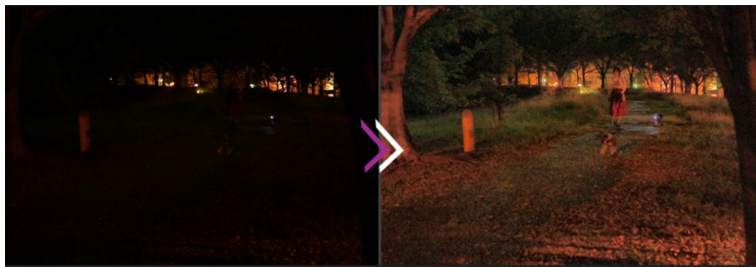
ロジック・アンド・デザイン



東京計器 開発中のAIカメラ



画像鮮明化:暗所



復元高解像度化:航空写真



ロジック・アンド・デザイン 鮮明化、復元高解像度化された画像

本出資を通じて両社間の情報共有を促進し、防衛事業の新製品開発を推進します。



当社は、防衛事業で無人機という新たな脅威への対処として、AIカメラによる探知・識別技術の開発に注力しています。本連携により、暗所、霧、逆光、低解像度などの環境下における探知・識別能力の向上を目指します。



ロジック・アンド・デザインについて  
 設立: 2018年3月13日  
 資本金: 50,000,000円

<事業内容>  
 画像鮮明化アルゴリズム/復元高解像度化アルゴリズム開発  
 関連機器&ソフト/システム開発販売

詳細はこちら▼

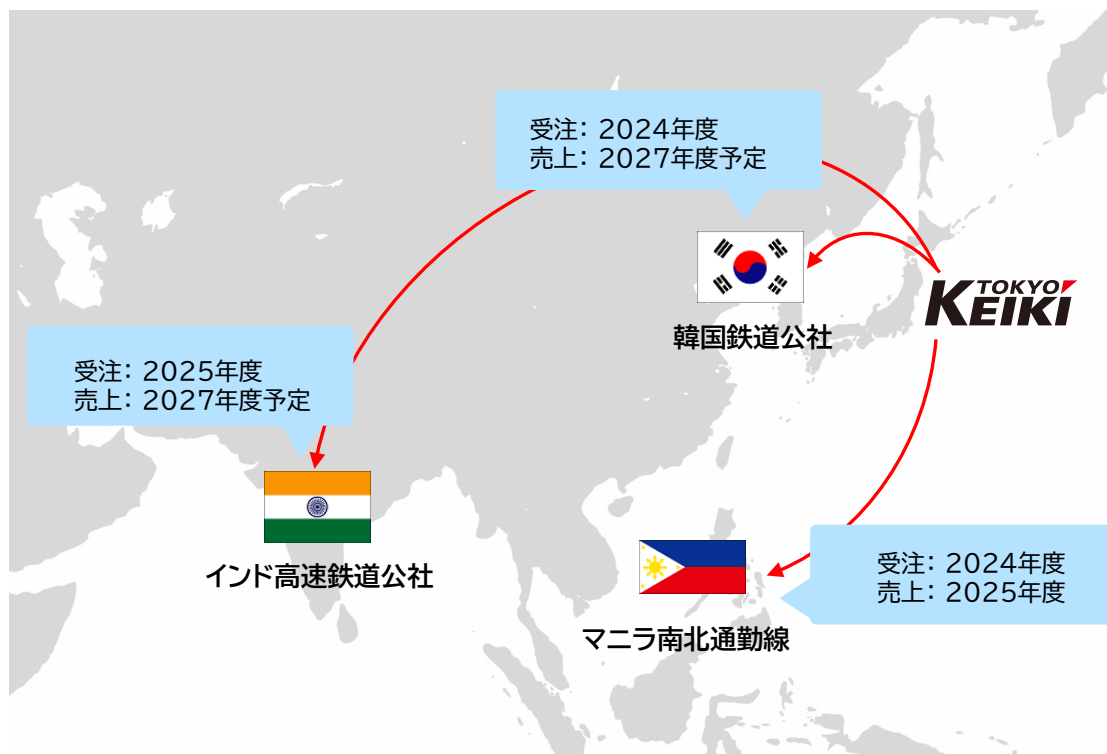
[ロジック・アンド・デザイン](#)

4.ご参考資料:トピックス

# 世界の安全安心な鉄道運行に貢献

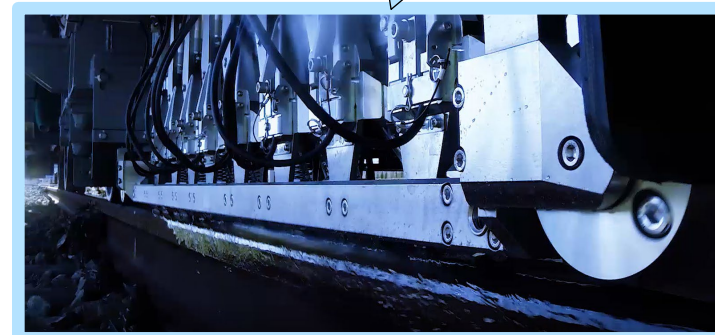
## 鉄道機器事業において海外での受注・売上が拡大。

当社グループは長期ビジョン「東京計器ビジョン2030」の中で、成長ドライバーの一つに鉄道機器事業を挙げています。この度、東京計器レールテクノ株式会社(TRT)の製品の評価がグローバルで高まり、複数地域で新規受注・売上が計上しました。



車両全体イメージ

超音波レール探傷車  
走行しながら、レール内部の欠陥を  
自動検出して記録する車両システム

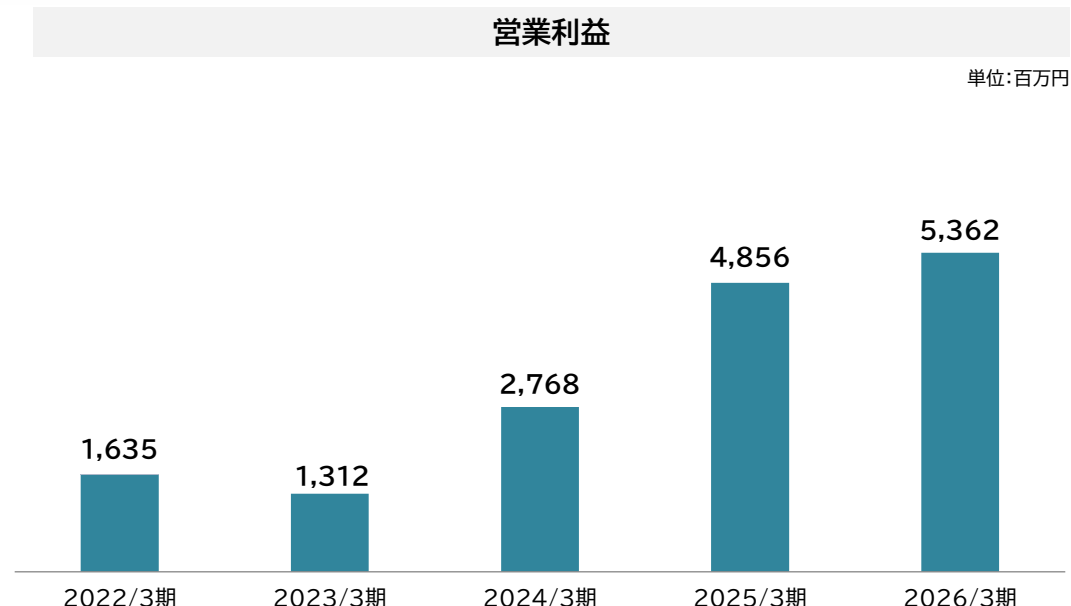
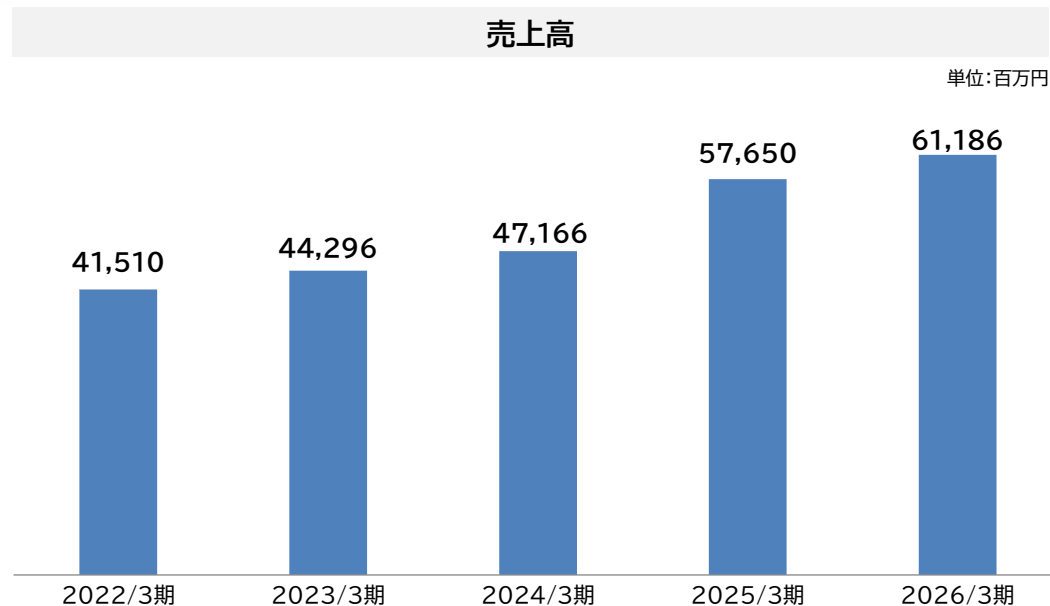


車両に搭載された超音波レール探傷装置

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 計画
3. セグメント別 詳細情報
4. **ご参考資料**
  - トピックス
  - **業績推移**
  - 事業紹介

4.ご参考資料:業績推移

# 売上高・営業利益推移



単位:百万円	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (増減率)
売上高	41,510	44,296	47,166	57,650	<b>61,186</b>	+3,536	+6.1%
営業利益	1,635	1,312	2,768	4,856	<b>5,362</b>	+506	+10.4%
(営業利益率)	(3.9%)	(3.0%)	(5.9%)	(8.4%)	<b>(8.8%)</b>	(+0.3pt)	
経常利益	1,926	1,687	2,990	5,001	<b>5,492</b>	+492	+9.8%
当期純利益	1,493	873	2,277	3,797	<b>4,005</b>	+208	+5.5%

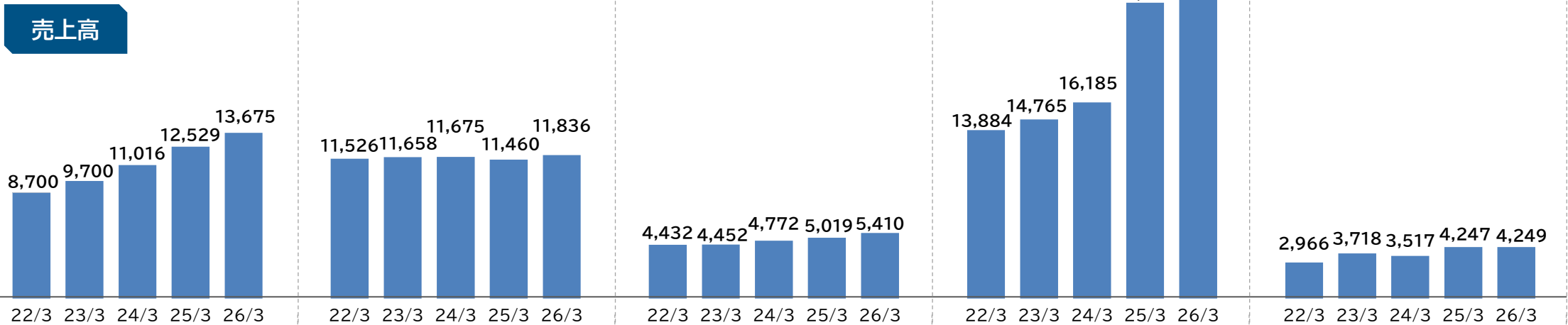
(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

4.ご参考資料:業績推移

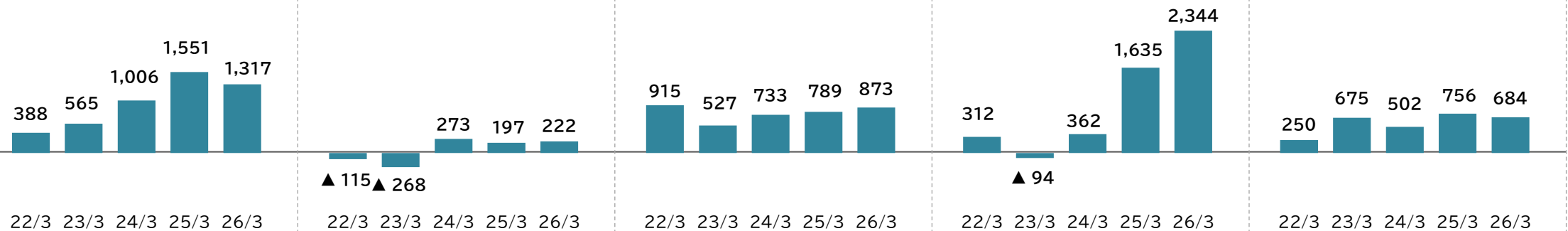
セグメント別 売上高・営業利益推移

単位:百万円

売上高



営業利益



船舶港湾

油空圧

流体

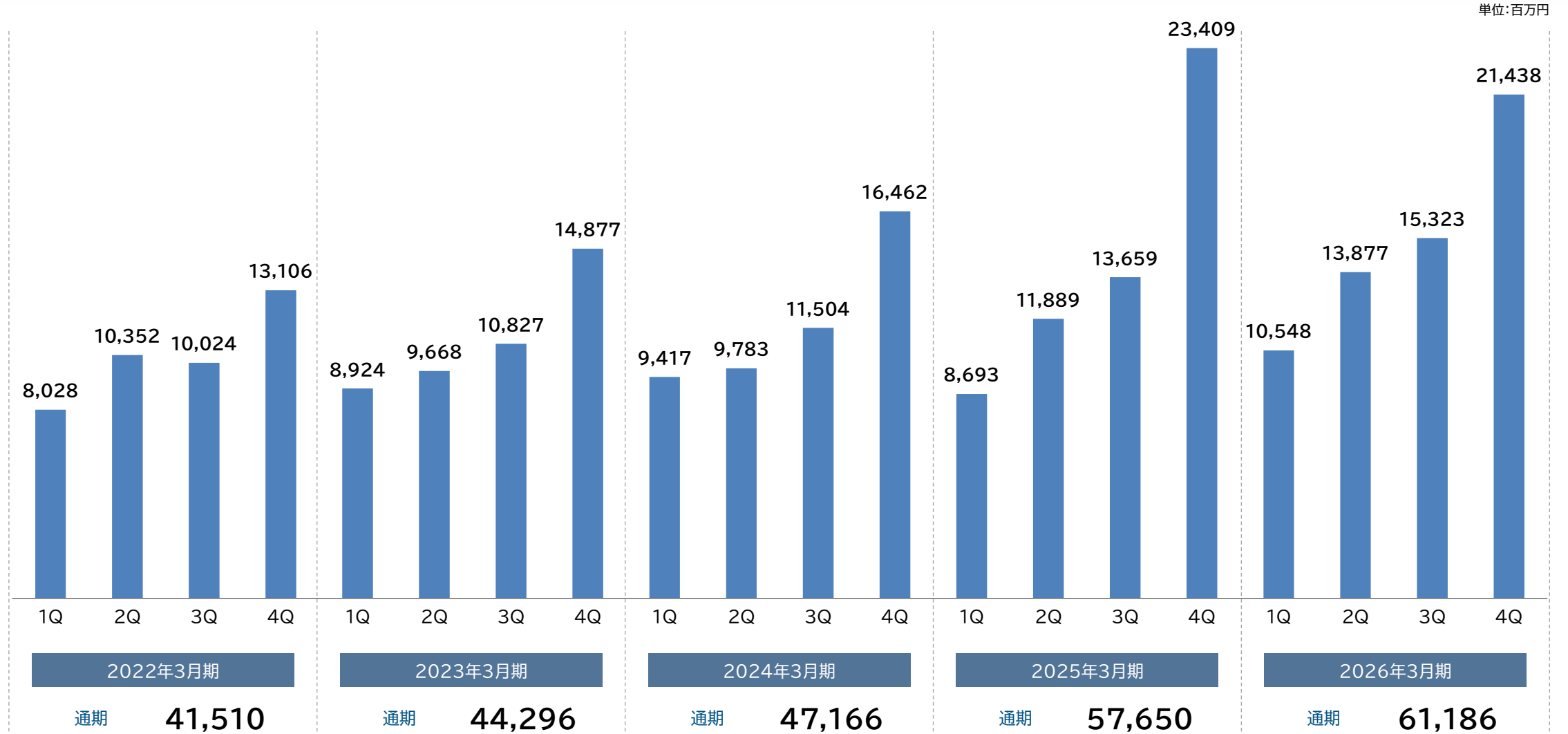
防衛・通信

その他

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

4.ご参考資料:業績推移

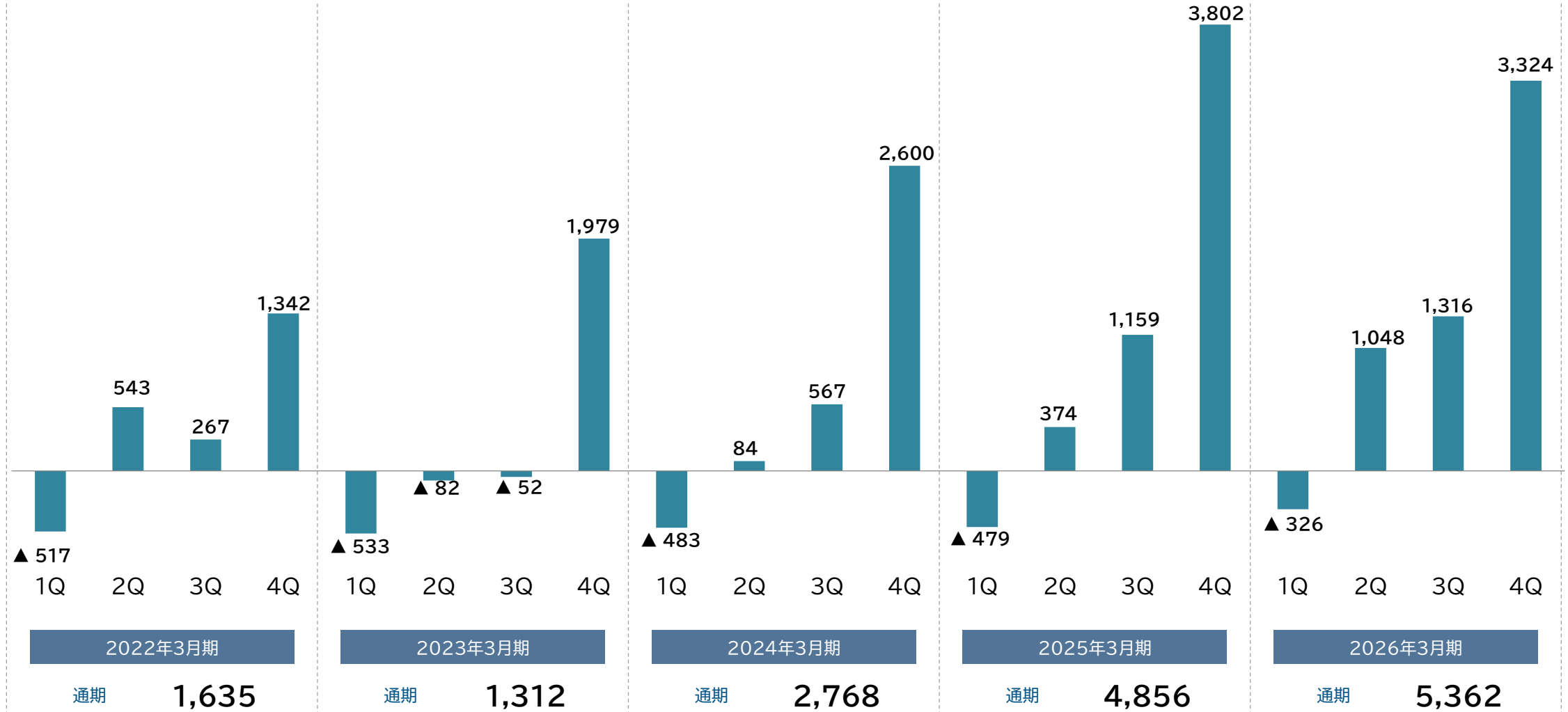
四半期 売上高推移



4.ご参考資料:業績推移

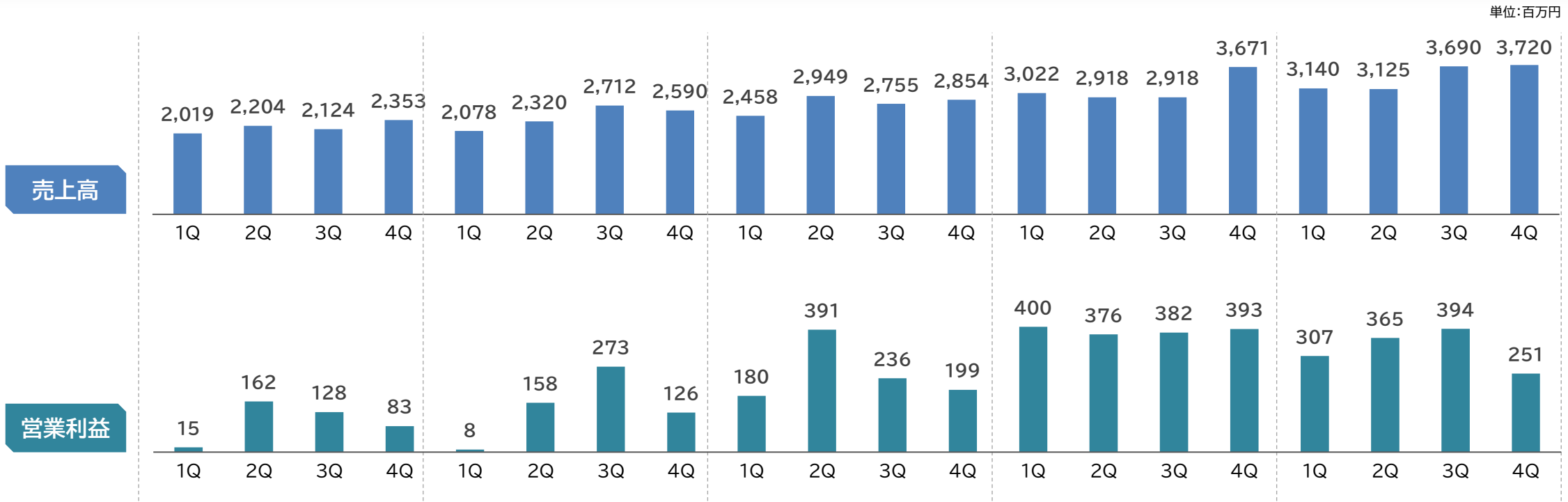
四半期 営業利益推移

単位:百万円



4.ご参考資料:業績推移

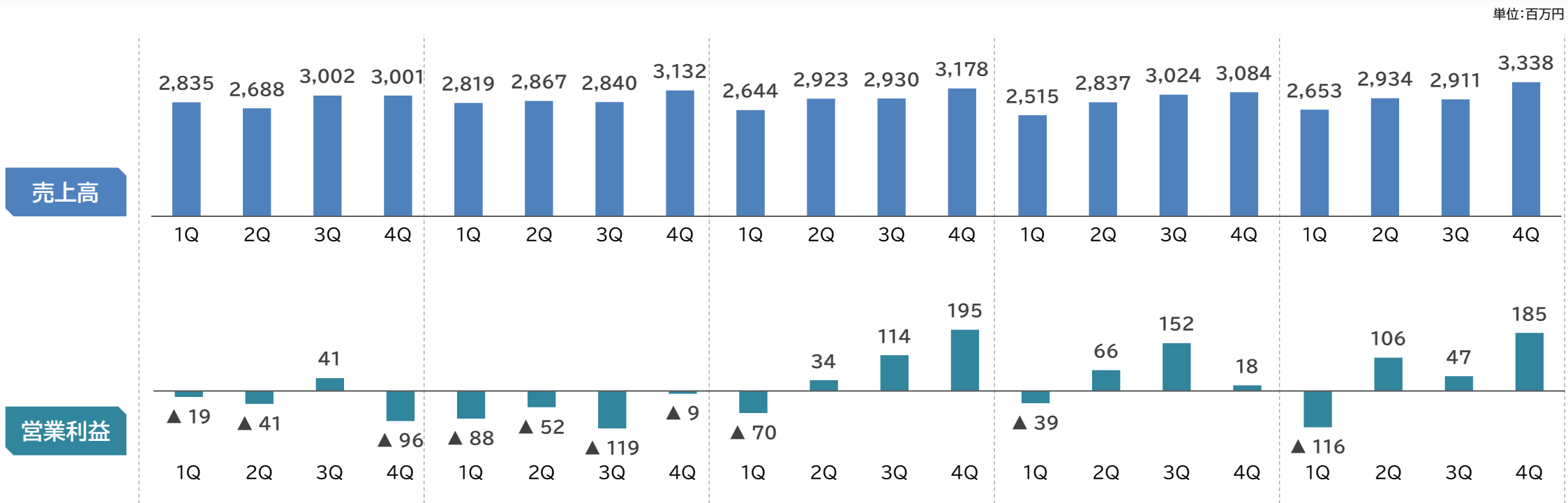
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 **船舶港湾**



	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	8,700	388	9,700	565	11,016	1,006	12,529	1,551	13,675	1,317

4.ご参考資料:業績推移

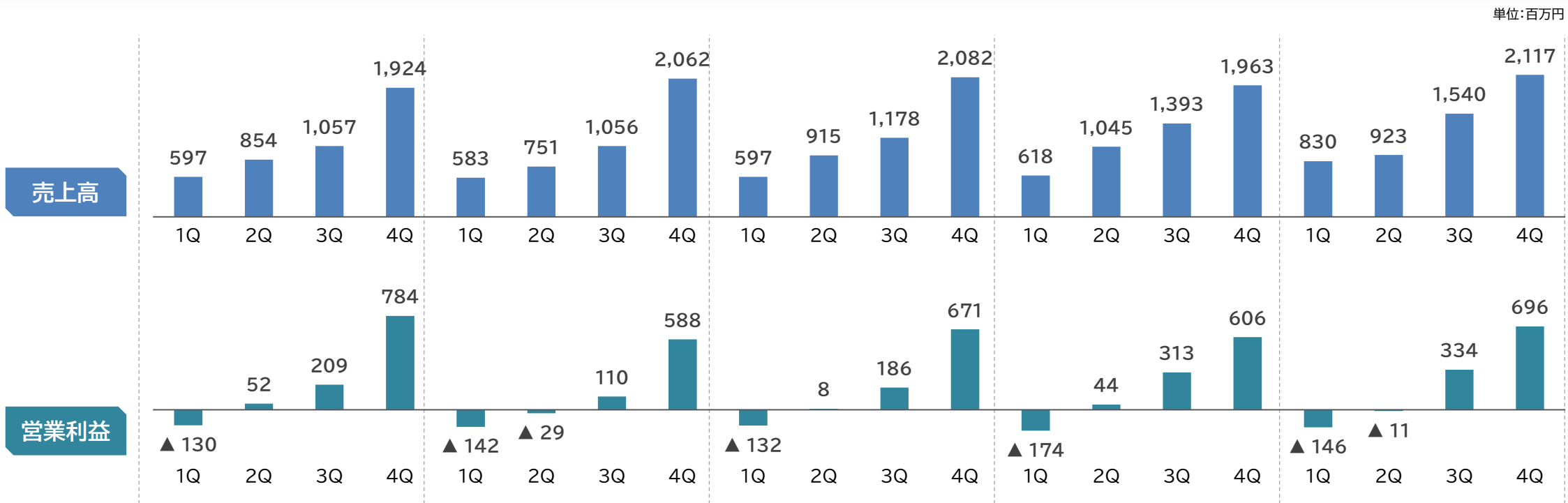
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 **油空圧**



	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	11,526	▲115	11,658	▲268	11,675	273	11,460	197	11,836	222

4.ご参考資料:業績推移

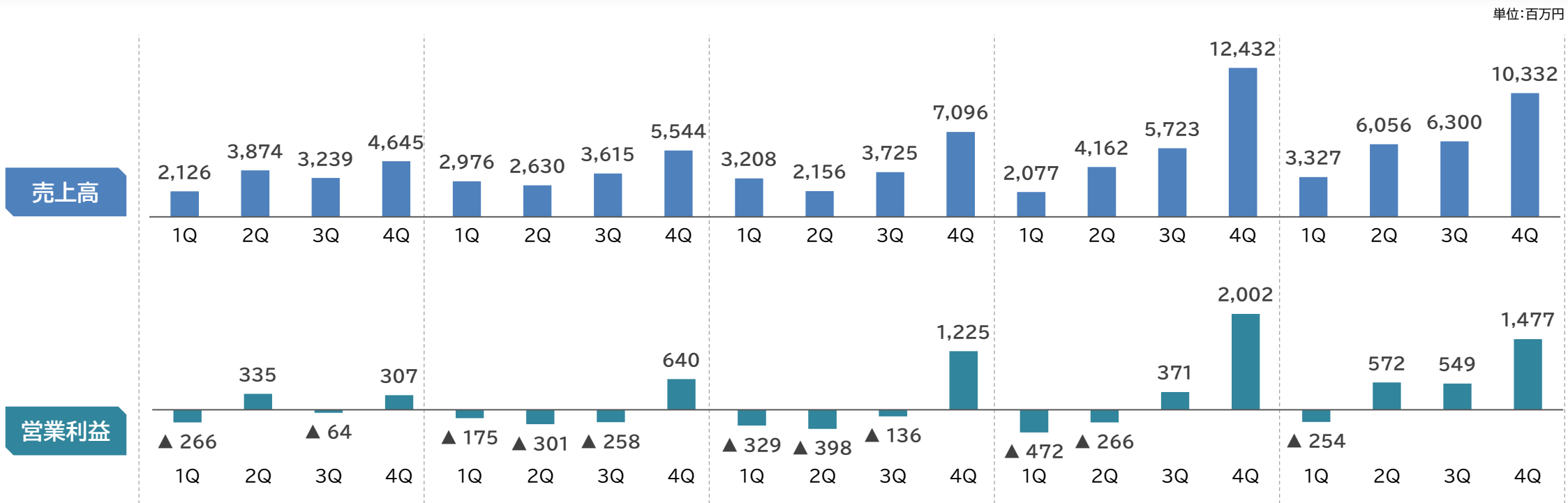
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 **流体**



	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	4,432	915	4,452	527	4,772	733	5,019	789	5,410	873

4.ご参考資料:業績推移

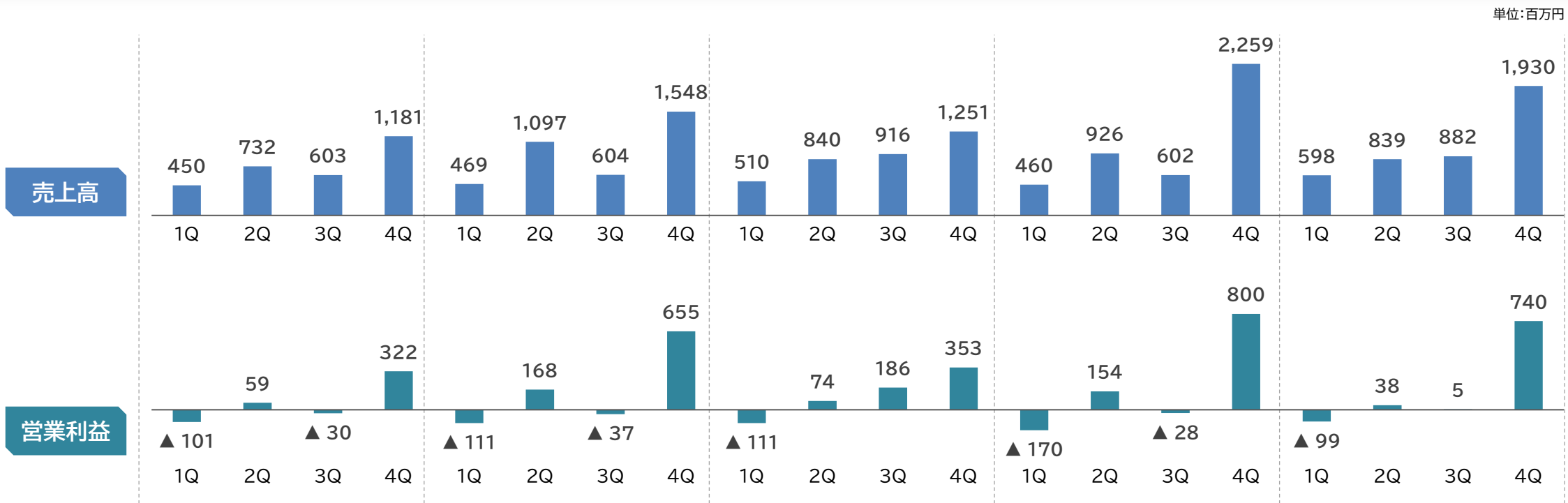
セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 **防衛・通信**



	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	13,884	312	14,765	▲94	16,185	362	24,394	1,635	26,015	2,344

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 その他

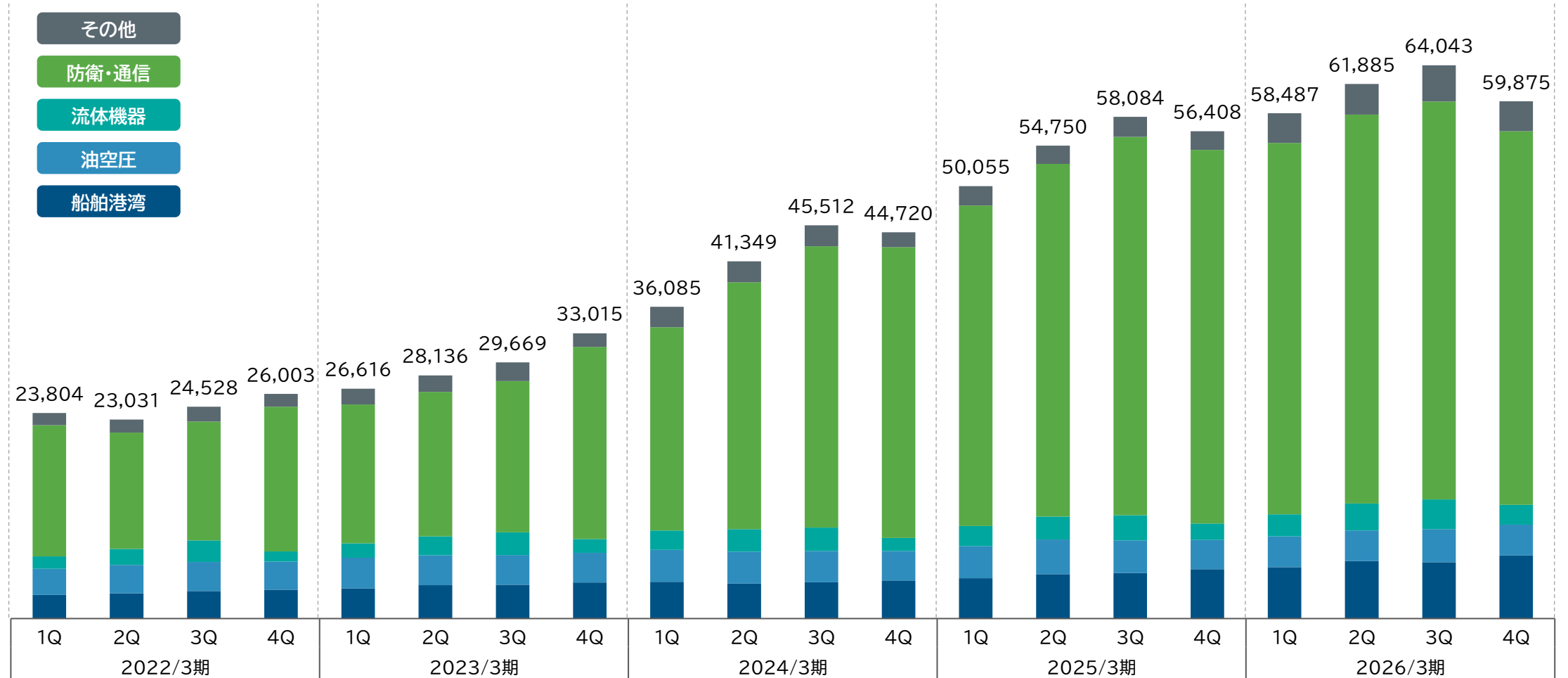


	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	2,966	250	3,718	675	3,517	502	4,247	756	4,249	684

4.ご参考資料:業績推移

四半期 受注残高推移

単位:百万円



4.ご参考資料:業績推移

## セグメント別 四半期 受注残高推移 一覧表

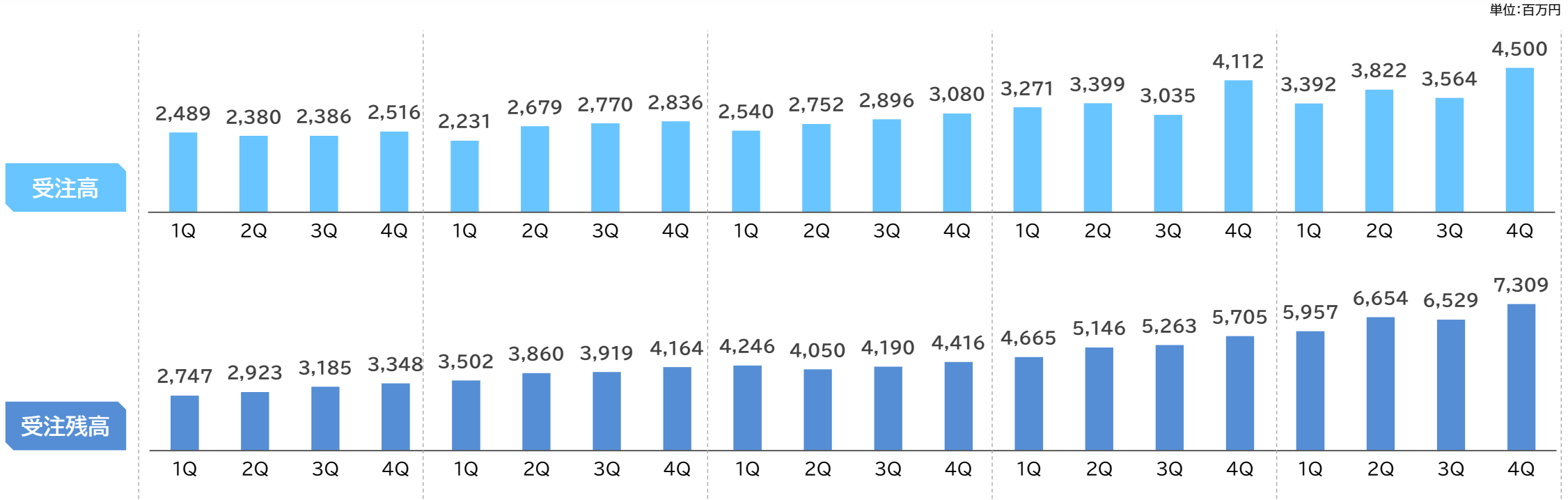
単位:百万円		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
船舶港湾	1Q	2,747	3,502	4,246	4,665	5,957
	2Q	2,923	3,860	4,050	5,146	6,654
	3Q	3,185	3,919	4,190	5,263	6,529
	4Q	3,348	4,164	4,416	5,705	7,309
油空圧	1Q	3,022	3,547	3,713	3,732	3,551
	2Q	3,281	3,458	3,695	4,004	3,551
	3Q	3,370	3,424	3,638	3,785	3,832
	4Q	3,260	3,439	3,399	3,390	3,562
流体	1Q	1,432	1,652	2,239	2,315	2,555
	2Q	1,864	2,207	2,596	2,660	3,124
	3Q	2,488	2,650	2,705	2,907	3,424
	4Q	1,153	1,593	1,521	1,917	2,297
防衛・通信	1Q	15,182	16,096	23,510	37,096	43,000
	2Q	13,448	16,726	28,598	40,833	45,003
	3Q	13,773	17,497	32,555	43,812	46,070
	4Q	16,775	22,269	33,651	43,246	43,235
その他	1Q	1,421	1,820	2,377	2,247	3,423
	2Q	1,515	1,885	2,410	2,106	3,553
	3Q	1,712	2,179	2,424	2,317	4,189
	4Q	1,467	1,550	1,733	2,151	3,472

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

船舶港湾

単位:百万円



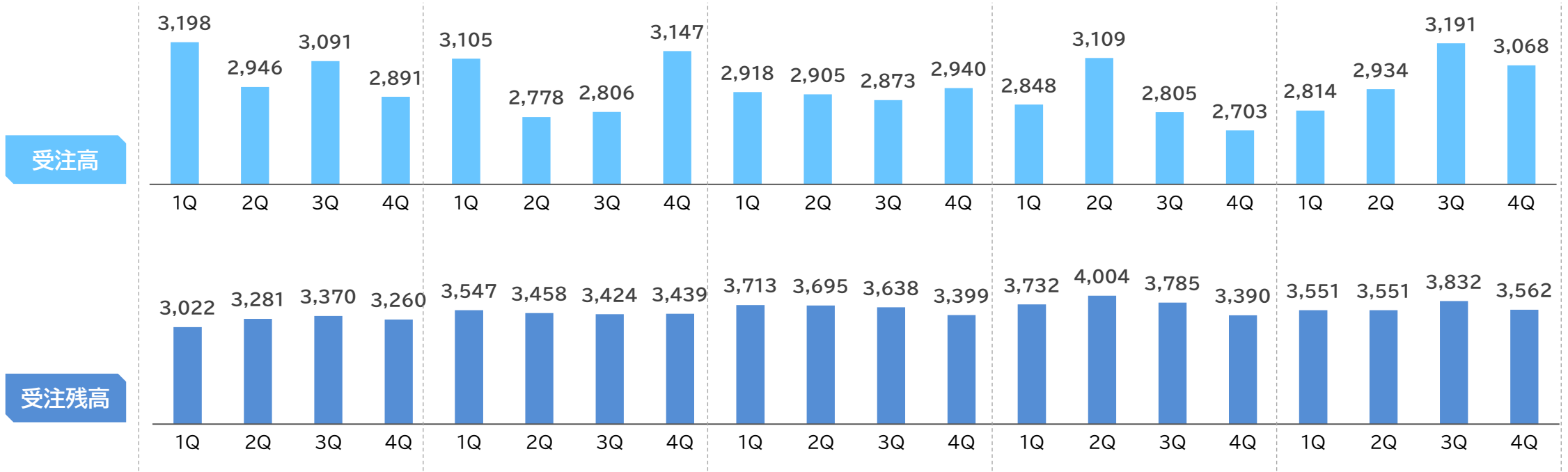
	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	9,772	3,348	10,516	4,164	11,268	4,416	13,817	5,705	15,280	7,309

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

油空圧

単位:百万円



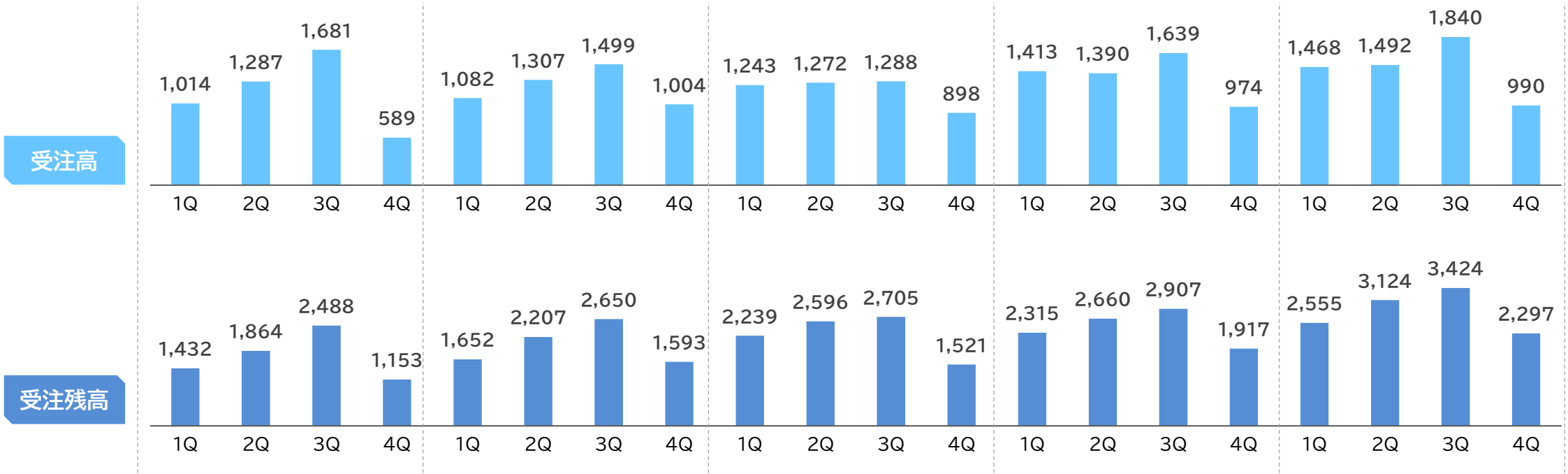
	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	12,126	3,260	11,836	3,439	11,635	3,399	11,466	3,390	12,007	3,562

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

流体

単位:百万円



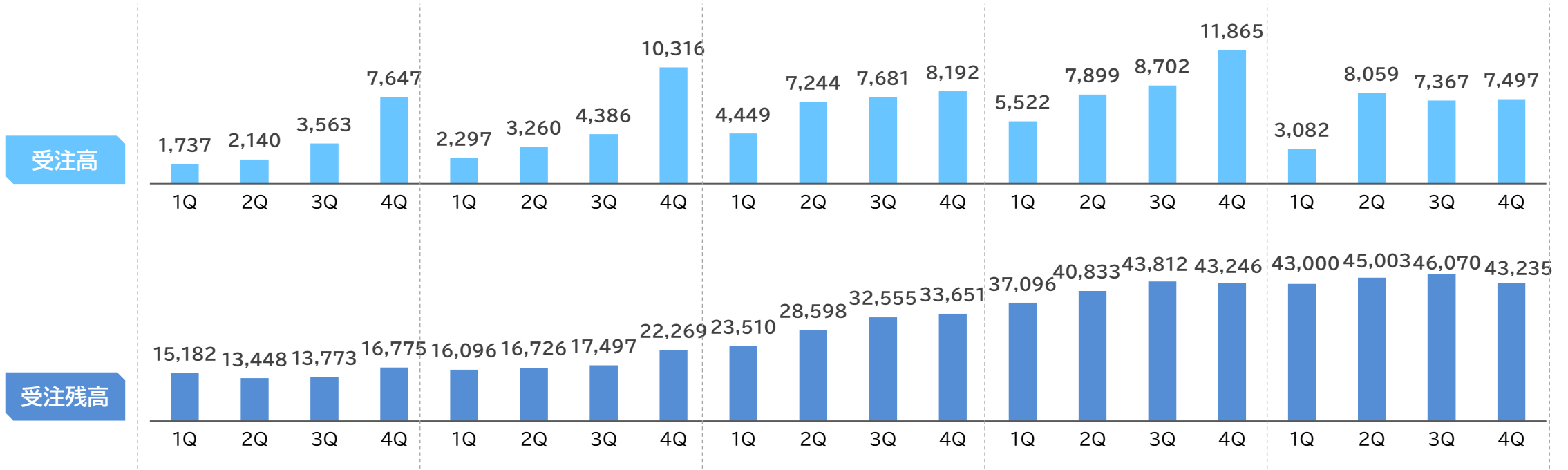
	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	4,571	1,153	4,892	1,593	4,700	1,521	5,415	1,917	5,790	2,297

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

防衛・通信

単位:百万円



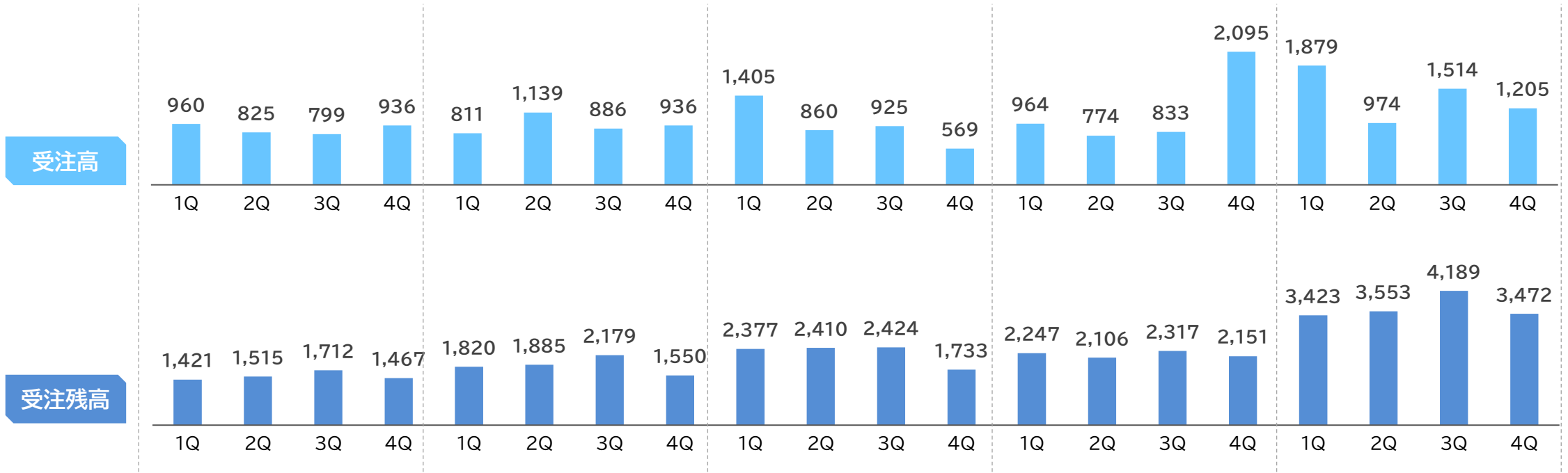
	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	15,088	16,775	20,259	22,269	27,566	33,651	33,988	43,246	26,004	43,235

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

その他

単位:百万円



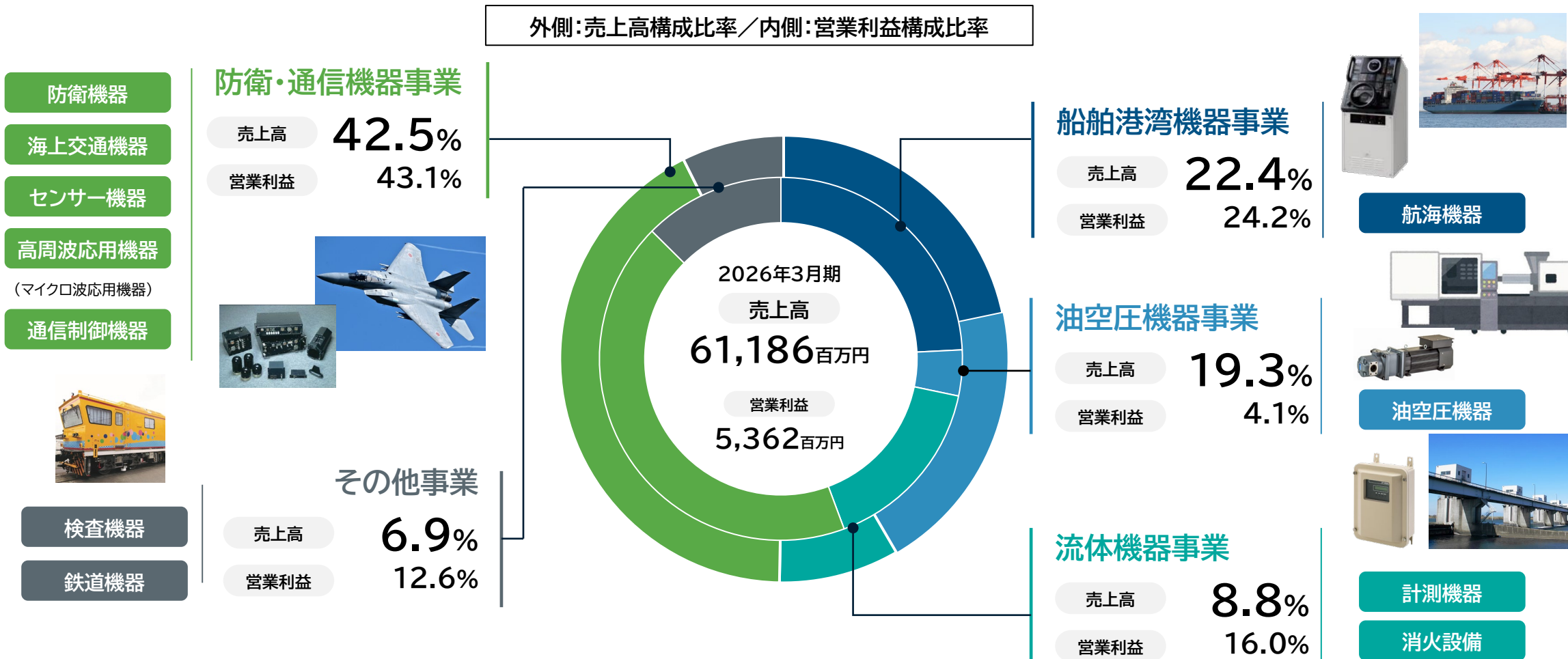
	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	3,520	1,467	3,771	1,550	3,759	1,733	4,666	2,151	5,572	3,472

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 計画
3. セグメント別 詳細情報
4. **ご参考資料**
  - トピックス
  - 業績推移
  - **事業紹介**

4.ご参考資料:事業紹介

東京計器グループの主要事業紹介

■ 東京計器グループの事業は4つのセグメント及びその他事業に分かれ、その中に11の事業があります。

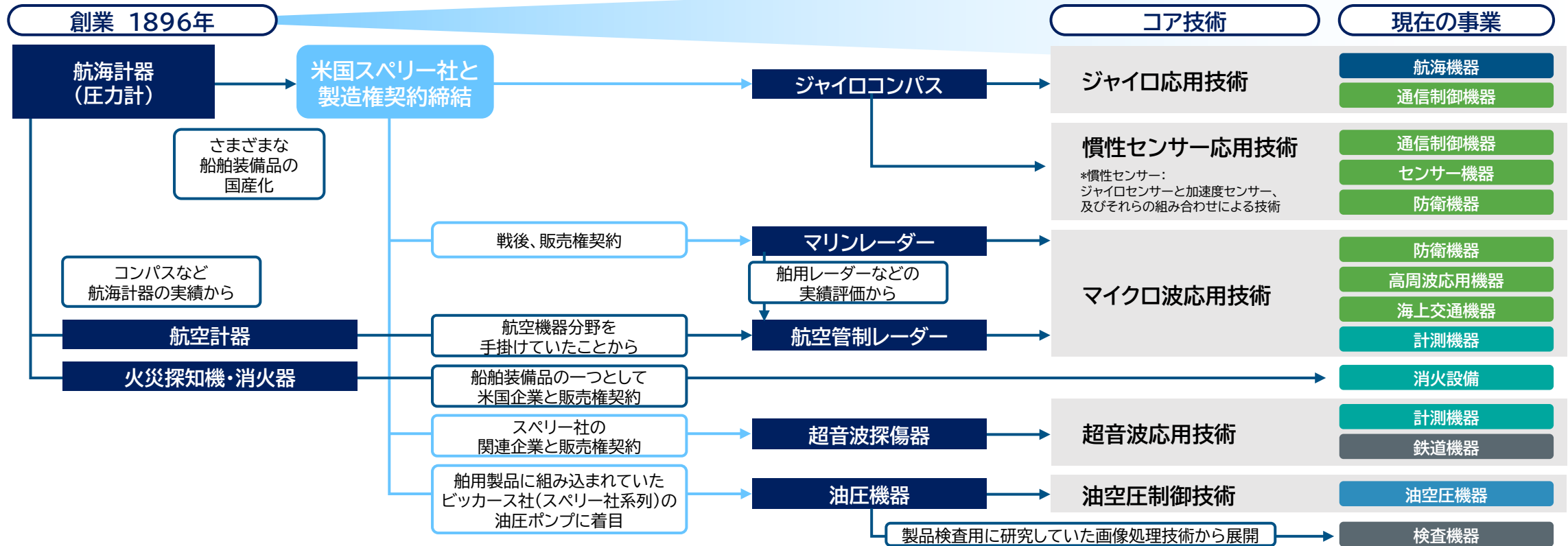


(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

4.ご参考資料:事業紹介

# コア技術創出の歴史

東京計器グループの事業の源は、明治時代、航海計器の開発に遡ります。  
 ジャイロ技術から始まり、いくつものコア技術が生まれ、現在のような事業に発展してきました。  
 これらのコア技術は、事業間で共有することで新たな製品の開発が進むなど、今でもイノベーションの源泉となっています。



4.ご参考資料:事業紹介

船舶港湾機器事業

航海機器

船舶の安全航行、省エネ操船に貢献

航海機器

業界シェア

ジャイロコンパス  
・オートパイロット

世界の商船  
6割以上

国内内航船  
8割以上

- 操船に必要な航海計器をトータルでラインナップし、グローバルに提供。
- 日本で最初にジャイロコンパスやオートパイロット、レーダーの生産を開始した、航海計器のパイオニア。



自動操舵など  
操縦系統を担う  
オートパイロット



方位を指し示す  
ジャイロコンパス



センサー部に定期交換の  
必要な可動部分が無い  
光ファイバージャイロ (FOG)



海図情報を表示するECDIS  
(電子海図情報表示装置)

- ジャイロコンパス、オートパイロットのトップ企業として、無人運航船開発プロジェクトやGHG排出削減に貢献する風力推進船プロジェクトに参画。



「無人運航船の社会実装に向けた  
プロジェクトDFFAS+」



「ウインドチャレンジャー  
プロジェクト」

4.ご参考資料:事業紹介

油空圧機器事業

油空圧機器

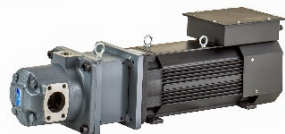
ものづくり、インフラづくりの現場で活躍

産業機械向け

- 射出成形機、工作機械、自動車製造用ダイカストマシン等に、省エネ・制御性に優れた油空圧機器を提供。

業界シェア

国内プラスチック  
射出成形機用  
約4割



流量や圧力を制御する  
ポンプ回転数制御システム



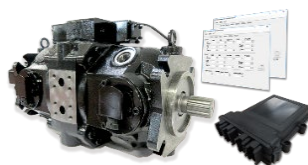
工作機械や一般産業機械の  
油圧動力源として広く利用  
される小形パワーユニット



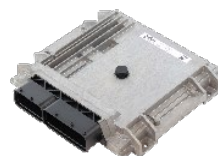
あらゆる油圧機器に  
用いられる電磁切換弁

建設機械向け

- 主にクレーン、高所作業車等の特装車向けに油圧製品と駆動を制御する電子機器を提供。



電気ダイレクト制御  
ピストンポンプ



コントローラー



ディスプレイ

水素エネルギー活用

- 水素ステーション向け油圧式水素圧縮装置や分割モジュール式水素圧縮パッケージを提供。



水素ステーション向け  
水素圧縮装置



分割モジュール式  
水素圧縮パッケージ

4.ご参考資料:事業紹介

流体機器事業

計測機器

暮らしと人命を守る:水資源の管理や河川防災で生活の安全に貢献

流量・水位監視

- 超音波流量計を世界で初めて実用化したパイオニア。
- 超音波流量計は、上下水道や農業用水配管網の流量監視で活躍。

業界シェア

国内上下水道、  
農業用水向け  
**6割以上**



上水、農業用水、工業用水  
の監視等に使われる  
超音波流量計



簡単取付・簡単設定の  
超音波流量計



ミリ波による狭いビームで  
より安定した計測が可能な  
電波レベル計

国土防災

- 電波レベル計を利用したシステムで、相次ぐ河川氾濫や都市水害から人命を守る。



河川の水位上昇をいち早く  
知らせる危機管理型水位計



下水がマンホールから溢れ出ることによる都市  
水害の危険を知らせる溢水対策水位計

消火設備

火災から守る: ガス系消火設備が水濡れ厳禁の施設で活躍

- 日本で初めて不活性ガス消火設備を手掛けて以来、各種ガス系消火設備で暮らしの安全に貢献。



水・泡消火が適さない印刷機械などを有する工場施設、  
オフィスビル、美術館、博物館、立体駐車場などで活躍  
するガス系消火設備

4.ご参考資料:事業紹介

防衛・通信機器事業

防衛機器

国防に貢献:マイクロ波応用技術や慣性センサー技術が強み

- 防衛市場向けの航空機搭載用電子機器や艦艇向け航法装置などの開発・生産・修理保守。



◀ 写真提供:  
イカロス出版/赤塚聡



航空機を取り巻く電波を瞬時に分析し、危険なレーダー照射などの警報を発するレーダー警戒装置



GPSなどを利用した方位測定ができない潜水艦などに搭載される高精度のリングレーザージャイロを用いた慣性航法装置



航空機の高度、速度などを計算する対気諸元計算装置(ADC)ブルーインパルスの機体にも搭載

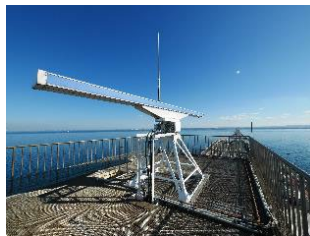
海上交通機器

船の安全航行に貢献:”海の管制塔“ともいえる海上交通システムを提供

- 混雑する海上交通路の管制業務に必要な、「海上監視レーダー」や「AIS\*1情報管理装置」といったVTS\*2システムを提供。
- 欧州の湾岸や河川向けにもVTS用レーダーを納入。

業界シェア

全国海上交通センターのVTSシステム  
100%



東京湾「海ほたる」に設置された海上監視レーダー



全国7か所の港湾に設置された海上交通センターの管制業務を担うVTSシステム

\*1 AIS : Automatic Identification System  
船舶間や船舶と航行援助施設などの中で情報交換を行うシステム  
\*2 VTS : Vessel Traffic Services  
船舶通航業務

4.ご参考資料:事業紹介

防衛・通信機器事業

センサー機器

業界シェア

気象庁向け  
地震計用加速度計  
約8割

慣性センサーや制御技術の組み合わせでスマート農業や防災システムに貢献

- ジャイロ技術、慣性センサー、独自のソフトウェア技術が結集したトラクタ直進自動操舵補助装置でスマート農業を推進。
- 気象庁向け地震計に使用される加速度計で国土防災に貢献。



震度測定に不可欠な  
地震加速度計



農作業の負担軽減のための  
農業機械向け直進自動操舵補助装置

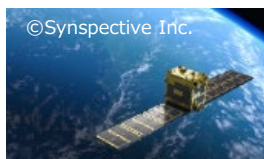
高周波応用機器

マイクロ波応用技術を駆使し、半導体製造装置部品や宇宙ビジネスなどの先進産業に参入

- ソリッドステートマイクロ波電源を半導体製造装置に搭載することで、半導体の微細化を実現。
- 観測衛星から地表に向けて発するレーダー信号を増幅させるマイクロ波増幅器を提供。



次世代半導体の製造装置  
などに使用される  
ソリッドステートマイクロ波電源



マイクロ波増幅器が搭載された  
観測衛星(SAR衛星)

通信制御機器

業界シェア

国内TV局の報道  
ヘリに搭載される  
アンテナ自動指向装置  
9割以上

ジャイロセンサー、加速度計、磁気方位センサーなどの技術を放送品質向上に活用

- 放送局の報道ヘリや中継車に搭載された姿勢制御装置により、安定した映像送信を実現。
- 国内TV局の報道ヘリに搭載されているアンテナ自動指向装置により、空撮映像の確実な送信を実現。



ヘリコプターの位置と姿勢方位を絶えず把握のうえ、  
中継アンテナを常に受信局に向けるよう制御し、  
途切れなく映像を伝送するアンテナ自動指向装置



放送局の報道ヘリや、国内の主要なマラソン・  
駅伝中継などで、中継車に搭載される  
カメラ防振装置

4.ご参考資料:事業紹介

その他事業(検査・鉄道)

検査機器

印刷の品質向上に貢献: 高精度な画像処理技術で印刷や素材のトラブルを検出

業界シェア

軟包材向け  
グラビア印刷機向け  
国内  
トップシェア



印刷の不良率の削減と  
印刷品質の確保を実現  
する印刷品質検査装置



フィルム、不織布、金属箔などの無地  
素材の生産加工不良や異物混入など  
を検出する素材検査装置

軟包材:  
プラスチックフィルム、紙、  
アルミフォイルなどのような  
薄い柔軟性のある材料で  
構成されている包装材

鉄道機器

鉄道の安全運行に貢献: 超音波技術に加え、画像処理、ジャイロ技術・慣性センサー技術を  
鉄道保線に活用

業界シェア

JR各社・  
国内民営鉄道向け  
超音波レール探傷車  
7割以上



レール内部の傷に  
対し、超音波探傷に  
よる非破壊検査を  
行うレール探傷車



複数種の軌道材料  
の状態を自動で検  
査・判定する軌道検  
査省力化システム



レールのゆがみなど、  
軌道検査を行う  
慣性式軌道検測装置  
(写真はプロトタイプ)

## 注意事項

### 将来情報に係るご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。本資料ご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

### 本資料に関するお問い合わせ先

東京計器株式会社	コーポレート・コミュニケーション室 早川
TEL	03-3730-7013
問合せフォーム	<a href="https://www.tokyokeiki.jp/form/webform_ir.html">https://www.tokyokeiki.jp/form/webform_ir.html</a>
ホームページ	<a href="https://www.tokyokeiki.jp/">https://www.tokyokeiki.jp/</a>



株式会社シェアードリサーチによるアナリストレポートを公開しています。

日本語版 <https://sharedresearch.jp/ja/companies/7721>

英語版 <https://sharedresearch.jp/en/companies/7721>

本レポートは予告なく公開終了する場合がございます。